

# 保健事業のあらまし

(令和6年度)

氷見市市民部健康課

## <目次>

I	氷見市の概要	
1	概要	1
II	健やかな子を生み育てるためのサービス	
1	健康診査	3
2	子育て相談	13
3	出産子育て応援事業	18
4	母子健康教室	19
5	発達支援相談	21
6	思春期保健	23
7	子どもの予防接種	24
8	不妊治療費助成事業	26
9	むし歯予防事業	27
III	健やかな生活を送るためのサービス	
1	健康相談	29
2	健康教育	30
3	特定保健指導事業	32
4	糖尿病性腎症重症化予防事業	34
5	健康診査	36
6	結核検診	57
7	訪問指導	58
8	成人・高齢者の予防接種	59
IV	市民ぐるみの健康づくり活動の推進	
1	健康づくりボランティアの養成	61
2	健康づくりボランティアの育成及び活動	62
V	第3次氷見市ヘルスプラン21（第2次氷見市自殺対策計画）	
1	計画の推進と評価	73
2	氷見市未病対策事業	74
3	こころの健康づくり推進事業	76
VI	保健事業の円滑な推進をめざして	
1	健康づくり推進協議会	78
2	氷見市ヘルスプラン21推進会議	79
3	成人保健事業関係者会議	80
4	自殺対策推進会議	81
VII	社会参加の推進	
1	ポイント制度推進事業	82
2	とやま呉西圏域ポイントサービス事業	84
3	がん患者補正具購入費用助成事業	85
4	骨髄等移植ドナー助成事業	85

## VIII 災害時の保健活動

1 令和6年能登半島地震に係る保健活動……………	86
--------------------------	----

### 参考資料

- ・令和6年度母子保健事業の概要
- ・令和6年度成人保健事業の概要

# I 氷見市の概要

# 1 概要

1 面積・広ぼう  
(R5.12.31 現在)

面積 (km <sup>2</sup> )	広がり		海岸線の長さ (km)
	東西 (km)	南北 (km)	
230.54	18.16	21.92	19.50

(資料 氷見市の統計 令和5年版)

2 人口  
(R6.1.1 現在)

	総数	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
総数	43,205	3,660	22,281	17,264
男	20,760	1,904	11,531	7,325
女	22,445	1,756	10,750	9,939

(資料 氷見市の統計 令和5年版)

3 世帯数  
(R6.1.1 現在)

世帯数 17,446 世帯  
一世帯当たり人員 2.5人

(資料 氷見市の統計 令和5年版)

4 医療施設  
(R5.12.31 現在)

病院・医院 公立1 私立3 診療所 30  
歯科診療所 12

(資料 氷見市の統計 令和5年版)

5 人口動態

		出生	死亡	自然増加	乳児死亡	新生児死亡	死産	周産期死亡	婚姻	離婚
令和3年	実数	195	809	△614	-	-	3	-	123	31
	率	4.6	19.0	△14.4	-	-	15.2	-	2.9	0.73
令和4年	実数	177	828	△651	-	-	2	-	80	41
	率	4.2	19.8	△15.6	-	-	11.2	-	1.9	0.98
令和5年	実数	151	813	△662	-	-	3	-	94	45
	率	3.7	19.9	△16.2	-	-	19.5	-	2.3	1.10

※ 率は人口千対 (乳児・新生児・周産期死亡及び死産の率は出産千対)

(資料 令和5年人口動態統計)

6 主要死因分類

死因 順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
内容	悪性新生物	老衰	心疾患	脳血管疾患	誤嚥性肺炎	肺炎	不慮の事故	アルツハイマー症	新型コロナウイルス感染症	慢性閉塞性肺疾患
死亡数 (人)	177	131	84	59	36	30	28	23	19	14
死亡率 <sup>※</sup>	434.1	321.3	206.0	144.7	88.3	73.6	68.7	56.4	46.6	34.3

※ 死亡率は人口10万対

(資料 令和5年人口動態統計)

## II 健やかな子を生ま育てるためのサービス

# 1 健康診査

妊婦、産婦、乳幼児における疾病や障害の早期発見のみならず、心身の健全な発育や発達と子育ての不安に対してアドバイスし、子どもの健全な発育、発達を支援する。

## (1) 妊婦一般健康診査（医療機関委託）

### ① 発行数

受診票発行実数	発行者のうち転入者数
169	8

### ② 受診者数

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
受診数	165	156	161	161	148	147	146	140	134	132	128	107	83	47	1,855

### ③ 有所見の状況

	血圧	浮腫	尿蛋白	尿糖	貧血	妊娠高血圧症候群	糖尿病	切迫早産	その他	計(延数)
令和4年度	22	50	91	38	144	0	0	0	0	345
令和5年度	13	39	96	20	142	0	0	2	0	312
令和6年度	17	37	91	60	141	0	0	6	7	359

### ④ 受診結果

	不規則抗体		HBS抗体		HCV抗体		風疹抗体		HTLV1抗体	梅毒血清反応	HIV抗体	GBS	クラミジア
	受診数	陽性数	受診数	陽性数	受診数	陽性数	受診数	陽性数	受診数	受診数	受診数	受診数	受診数
令和4年度	129	0	137	0	137	0	137	81	142	137	137	131	143
令和5年度	140	0	152	0	152	0	147	84	143	151	151	143	140
令和6年度	152	1	165	0	165	1	165	84	147	165	165	158	130

## (2) 妊婦精密健康診査（医療機関委託）

	実行実数	受診実数
令和4年度	0	0
令和5年度	0	0
令和6年度	1	1

(3) 産婦健康診査（医療機関委託）

		発行実数		EPDS		受診状況							要訪問者への対応		訪問者のうち精神科連携		
		発行実数	受診者数	9点以上	項目10該当	異常なし	要指導	要精検	要治療	要訪問	EPDS	その他	計	訪問数	未訪問数	連絡が望ましい	連絡済
令和4年度	2週間	158	173	12	6	168	2	0	2	1	1	0	173	1	0	0	0
	1か月	158	178	10	6	177	0	0	1	1	1	0	178	1	0	0	0
令和5年度	2週間	176	141	6	1	140	0	0	0	1	0	0	141	1	0	0	0
	1か月	176	144	4	1	144	0	0	0	0	0	0	144	0	0	0	0
令和6年度	2週間	169	142	11	1	139	0	0	0	3	0	0	142	2	1	0	0
	1か月	169	141	5	1	138	0	0	0	3	1	0	141	3	0	1	0

※平成30年度から開始。

受診票発行者数：該当年度に産婦健診受診票を発行した人数（受診者数とは異なる）

(4) 妊婦歯科健康診査（医療機関委託）

	受診票発行数	受診状況				
		受診者数	受診率(%)	指示内訳(人)		
				異常なし	要指導	要精検
令和4年度	158	63	39.9	8	32	23
令和5年度	160	61	38.1	20	20	21
令和6年度	161	63	39.1	20	23	20

(5) 新生児等聴覚検査（医療機関委託）

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	検査結果							再検査結果		
				パス (反応あり) (人)			リフアー (反応なし) (要再検査) (人)			結果不明(人)	パス	リフアー	不明
				自動ABR	OAE	方法不明	自動ABR	OAE	方法不明				
令和4年度	181	181	100.0	168	1	0	12	0	0	0	-	-	-
令和5年度	150	150	100.0	142	1	0	7	0	0	0	7	0	0
令和6年度	147	146	99.3	146	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※令和3年度から新生児等聴覚検査費用助成制度を開始。

(6) 3～4か月児健康診査

① 受診状況

	健診回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	総合判定 (実人数)					未受診者数	未受診者の状況			
					異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療		問題なし	経過観察	その他	状況不明
令和4年度	12	182	182	100	128	20	28	4	2	0	0	0	0	0
令和5年度	11	155	154	99.4	113	17	17	4	0	1	0	1	0	0
令和6年度	12	159	159	100	114	23	12	5	5	0	0	0	0	0

※令和5年度は、年間12回実施予定であったが、うち1回は令和6年能登半島地震のため中止。

② 診察所見判定 (実人数)

	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
令和4年度	130	20	26	4	2	182
令和5年度	113	18	19	4	0	154
令和6年度	114	23	12	5	5	159

③ 診察所見内訳

	有所見者		所見内訳 (延数)															
	実数	延数	身体的発育状況	精神発達	けいれん	運動機能	神経系・感覚器系	血液系	皮膚	股関節	股関節(開排制限)	斜頸	循環器系	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器系	代謝系	先天性の身体的特徴
令和4年度	52	65	9	1	0	8	3	1	27	0	0	1	1	0	4	8	0	2
令和5年度	41	47	9	0	0	2	1	0	20	1	0	0	1	2	2	5	0	4
令和6年度	45	49	5	1	0	3	5	0	28	0	0	0	0	1	2	2	0	2

④ 整形外科診察判定(再掲)

	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
令和4年度	182	0	0	0	0	182
令和5年度	150	0	0	1	0	151
令和6年度	159	0	0	0	0	159

(7) 乳児一般健康診査（医療機関委託）

① 受診状況

	発行実数	受診数					指示内訳（実人数）							
		1回目	1回目 受診率	2回目	2回目 受診率	計	異常なし	治療中	要指導	要観察	要精健	要治療	未記入	
令和4年度	193	169	87.6	144	74.6	313	271	8	4	29	0	1	0	
令和5年度	164	131	79.9	124	75.6	255	221	10	1	20	2	1	0	
令和6年度	168	147	87.5	125	74.4	272	247	5	2	15	1	2	0	

② 有所見者の内訳（延人数）

	開排制限	白蓋形成不全	股脱・亜脱臼	心雑音	体重増加不良	皮膚の異常	性器の異常	運動機能の異常	目の異常	耳の異常	その他の異常	合計
令和4年度	0	0	0	1	16	11	4	4	0	1	10	47
令和5年度	0	0	0	2	8	5	8	7	0	0	8	38
令和6年度	0	0	0	0	5	4	3	4	1	1	12	30

(8) 乳児精密健康診査（医療機関委託）

	実行実数	受診実数
令和4年度	8	8
令和5年度	4	4
令和6年度	6	6

(9) 1歳6か月児健康診査

① 受診状況及び総合判定

	健診回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	総合判定（実人数）					未受診者数	未受診者の状況			
					異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療		問題なし	経過観察	その他	状況不明
令和4年度	12	206	206	100	94	24	81	3	4	0	0	0	0	0
令和5年度	12	195	194	99.5	97	24	67	6	1	1	0	1	0	0
令和6年度	10	151	150	99.3	64	9	77	0	0	1	1	0	0	0

② 診察所見判定（実人数）

	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
令和4年度	132	24	43	3	4	206
令和5年度	130	23	34	6	1	194
令和6年度	95	16	39	0	0	150

③ 診察所見内訳

	有所見者		所見内訳（延数）															
	実数	延数	身体的発育状況	精神発達	熱性けいれん	運動機能	視覚	聴覚	血液系	皮膚	循環器系	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器系	先天性の身体的特徴	生活習慣上の問題	情緒行動上の問題	その他の異常
令和4年度	74	121	11	19	8	8	4	4	0	8	2	2	5	7	2	6	23	12
令和5年度	64	100	9	12	7	5	0	1	2	15	4	1	1	8	1	3	27	4
令和6年度	55	72	7	31	6	6	0	0	0	5	0	1	1	3	0	0	9	3

※判定に関係なく、所見があれば計上。

④ 精神面指導区分（再掲）

	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
令和4年度	117	4	85	0	0	206
令和5年度	120	2	72	0	0	194
令和6年度	71	0	79	0	0	150

⑤ 歯科健診受診状況

	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率（%）	生歯数（本）		り患型（実人数）					
				総数（本）	一人当り数（本）	O1	O2	り患型			計
								A	B	C	
令和4年度	206	206	100	3,005	14.5	102	101	3	0	0	3
令和5年度	195	195	100	2,835	14.5	99	95	1	0	0	1
令和6年度	151	150	99.3	2,173	14.5	79	70	1	0	0	1

	むし歯の数 (本)			一人当り むし歯数 (本)	歯の汚れ (実人数)			軟組織異常あり	咬合異常あり	その他の異常あり	指しゃぶりあり
	未処置歯数	処置歯数	計		きれい	ふつう	きたない				
令和4年度	7	0	7	0.03	4	196	6	12	9	7	61
令和5年度	4	0	4	0.02	5	188	2	8	10	15	53
令和6年度	0	2	2	0.01	0	150	0	1	12	4	50

⑥ 精健票発行状況

	発行実数		受診結果						計
	発行枚数	受診者数	異常なし	要経過観察	要治療	再掲			
						精神面	身体面		
令和4年度	3	3	1	2	0	0	0	3	
令和5年度	6	4	0	4	0	0	0	4	
令和6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	

⑦ 精健受診結果所見内訳

	有所見者		所見内訳 (延数)																
	実数	延数	身体的発育状況	精神発達	熱性けいれん	運動機能	視覚	聴覚	血液系	皮膚	循環器系	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器系	先天性の身体的特徴	生活習慣上の問題	情緒行動上の問題	その他の異常	
令和4年度	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年度	4	4	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(10) 3歳児健康診査

① 受診状況及び総合判定

	健診回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	総合判定 (実人数)					未受診者数	未受診者の状況			
					異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療		問題なし	経過観察	その他	状況不明
令和4年度	12	210	210	100	109	33	41	25	2	0	0	0	0	0
令和5年度	12	207	207	100	109	23	54	20	1	0	0	0	0	0
令和6年度	12	211	210	99.5	105	34	45	23	3	1	0	0	1	0

② 診察所見判定（実人数）

	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
令和4年度	115	33	35	25	2	210
令和5年度	120	33	38	14	2	207
令和6年度	121	35	29	25	0	210

③ 診察所見内訳（延人数）

	有所見者		所見内訳（延数）														
	実数	延数	身体的発育状況	精神発達	熱性けいれん	運動機能	神経系・感覚器系	血液系	皮膚	循環器系	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器系	先天性の身体的特徴	生活習慣上の問題	情緒行動上の問題	その他の異常
令和4年度	95	161	9	19	12	2	30	0	9	4	0	0	6	5	7	38	20
令和5年度	87	121	0	10	14	1	24	0	7	2	2	1	3	0	6	41	10
令和6年度	89	126	2	20	18	1	24	2	7	2	1	4	7	2	5	23	8

※判定結果に関係なく、所見があれば計上。

④ 眼科所見（実人数）

	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	計
令和4年度	180	0	0	30	210
令和5年度	183	11	0	13	207
令和6年度	190	0	0	20	210

⑤ 耳鼻咽喉科所見（実人数）

	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	計
令和4年度	210	0	0	0	210
令和5年度	207	0	0	0	207
令和6年度	210	0	0	0	210

⑥ 眼科屈折検査

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	検査結果						
				異常なし (人)	異常あり (人)					
					近視	遠視	乱視	斜視	不同視	その他
令和4年度	210	210	100	182	0	1	14	5	7	1
令和5年度	207	207	100	188	0	3	13	4	3	0
令和6年度	211	210	99.5	189	1	4	14	2	2	0

※令和2年10月から屈折検査機器「両眼開放型オートレフラクトメーター（スポットビジョンクリナー）」を導入し検査を実施。

⑦ 精神面指導区分（再掲）

	異常なし	既医療	要経過観察	要精密	要治療	計
令和4年度	151	11	48	0	0	210
令和5年度	145	7	55	0	0	207
令和6年度	140	6	64	0	0	210

⑧ 歯科健診受診状況

	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	生歯数 (本)		り患型 (実人数)					
				総数	1人当り数	O					計
							A	B	C1	C2	
令和4年度	210	210	100	4179	19.9	182	25	3	0	0	28
令和5年度	207	207	100	4124	19.9	191	9	7	0	0	16
令和6年度	211	210	99.5	4189	19.9	195	14	1	0	0	15

	むし歯の数 (本)			一人当りむし歯数 (本)	むし歯の判定 (実人数)					歯の汚れ (実人数)		
	未処置歯数	処置歯数	計		異常なし	既医療	要経過観察	要指導	要治療	きれい	ふつう	きたない
令和4年度	67	0	67	0.3	148	11	36	1	14	4	205	1
令和5年度	54	4	58	0.3	132	9	56	2	8	5	199	3
令和6年度	31	16	47	0.2	153	6	41	2	8	0	210	0

	軟組織の異常 (人)				不正咬合 (人)								その他の異常 (人)				
	異常あり(美)	異常の内訳			異常あり(美)	不正咬合内訳							異常あり(美)	異常の内訳			
		小帯	歯肉	その他		反対咬合	開咬	上顎前	そう生	過蓋咬合	交叉咬合	その他		癒合歯	先天欠如	過剰歯	その他
令和4年度	7	7	0	0	12	5	2	0	0	2	1	2	17	14	3	0	0
令和5年度	9	9	0	0	26	10	3	1	3	4	2	3	18	8	5	0	5
令和6年度	3	3	0	0	24	8	3	4	3	2	3	1	13	7	5	0	1

⑨ 精健票発行状況

	発行状況		受診者数						計
	発行枚数	受診者数	異常なし	要経過観察	要治療	再掲			
						精神面	身体面		
令和4年度	32	26	3	20	3	0	3	26	
令和5年度	21	12	1	9	2	0	2	12	
令和6年度	25	20	3	17	0	0	0	20	

⑩ 精健受診結果所見内訳

	有所見者		所見内訳 (延数)														
	実数	延数	身体的発育状況	精神発達	熱性けいれん	運動機能	神経系・感覚器系	血液系	皮膚	循環器系	呼吸器系	消化器系	泌尿生殖器系	先天性の身体的特徴	生活習慣上の問題	情緒行動上の問題	その他の異常
令和4年度	23	23	1	0	0	0	21	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
令和5年度	12	12	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
令和6年度	20	20	1	0	0	0	17	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0

⑪ 精健受診結果所見内訳 (視覚・聴覚)

	視覚			聴覚									
	実数	再掲		実数	再掲			実数	再掲				
		視力異常	眼位異常		耳について	聴力について	その他		難聴	滲出性中耳炎	言語発達		
令和4年度	21	18	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年度	11	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度	17	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(11) コウノトリ健診（プレ妊活健診）

将来子どもを望む夫婦（事実婚を含む）を対象に、妊娠・出産に影響する疾患を早期に発見し、現在のからだの状態を把握することで、早期治療に繋げるとともに、将来の妊娠に向けた健康管理（プレコンセプションケア）を推進し、夫婦の理想のライフプランの実現や若い夫婦のウェルビーイングの向上を目指す。

① 受診数

	男性	女性
令和6年度	6	6

② 受診結果（男性） (人)

	異常なし	やせ	肥満
身長・体重	3	1	2

	異常なし	要経過観察	異常あり
収縮期血圧	6	0	0
拡張期血圧	6	0	0
空腹時血糖	6	0	0
脂質LDL-C	4	1	1
脂質HDL-C	6	0	0
脂質TG	6	0	0

	有	無
精子検査キットの実施	6	0

	異常なし	要経過観察	要治療・治療中
判定	4	2	0

③受診結果（女性） (人)

	異常なし	やせ	肥満
身長・体重	4	1	1

	異常なし	要経過観察	異常あり
収縮期血圧	5	1	0
拡張期血圧	5	1	0
甲状腺ホルモンTSH	5	0	1
超音波検査	4	2	0

	陰性	陽性
子宮頸がんリスク検査（HPV）	6	0
性感染症（クラミジア）	6	0
感染症（梅毒）	6	0

	異常なし	要経過観察	要治療・治療中
判定	4	2	1

※令和6年度から開始

## 2 子育て相談

妊娠、出産、子育て期にわたる各種の相談に応じ、保護者やその家族の不安の解消を図り、児の健全な発育を促すことを目的としている。

### (1) 妊娠届出及び母子健康手帳の交付

妊娠週数別届出状況（件）

区分	初産	経産	計
満 11 週以内	70	87	157
12 週～19 週	0	3	3
20 週～27 週	1	0	1
28 週以上	0	0	0
不詳	0	0	0
転入者	6	2	8
計	77	92	169

### (2) 母子手帳アプリ「ひみっこアプリ」

目的 妊娠中・子育て中の保護者を対象に、子育てに関連する情報をひみっこアプリから手軽に情報収集できる仕組みを提供することで、簡単で便利に妊娠・子育てを支援し、本人の不安感や孤立感を解消すること、子育ての充実感の増加と負担感の減少を図ることを目的とする。

アプリ登録者数

	登録者数
令和4年度	365
令和5年度	486
令和6年度	582

※令和4年6月から開始

### (3) 新生児訪問

#### ①訪問件数

	出生数 (4月～3月)	訪問数		出生順位内訳（実）		
		実	延	第1子	第2子	第3子以降
令和4年度	175	141 (53)	149 (57)	64	61	16
令和5年度	162	156 (41)	164 (43)	73	58	25
令和6年度	143	158 (31)	170 (33)	68	67	23

※（ ）はうち市外からの里帰り数

②エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）実施状況

	実施数	9点以上の者	割合
令和4年度	141	4	2.8%
令和5年度	156	6	3.8%
令和6年度	158	10	6.3%

(4) 未熟児等訪問指導

①低出生体重児等の対象児の訪問数

	実	延
令和4年度	54 (17)	72 (24)
令和5年度	48 (18)	53 (27)
令和6年度	21 (6)	22 (6)

※（ ）はうち市外からの里帰り数

②低出生体重児・未熟児等の対象数及び把握状況（件）

	未熟児等 出生連絡票 送付数	低出生体重児・未熟児等訪問			
		低体重児等 未熟児	先天性代謝異 常フォロー児	要支援家庭	その他
件数	21	17	0	1	3

※（ ）里帰り先市町村から把握したものや母のメンタル面での連絡ケースを含んだ件数

③エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）実施状況

	実施数	9点以上の者	割合
令和4年度	54	8	14.8%
令和5年度	48	8	16.7%
令和6年度	21	1	4.8%

(5) 乳幼児クリニック

①目的 未熟児及びハイリスク児に対して、医師による診察を行い、発育・発達の確認、疾病の予防と早期発見、適切な保健指導によりその児の健全な発達を促し支援する。

②対象 体重2,500g未満で出生した児（低出生体重児）や未熟児、経過観察が必要な児及びその保護者

③内容 小児科診察（小児科医）、保健相談（保健師）、栄養相談（栄養士）、母乳相談（助産師）

④相談件数

	実施回数	参加者数	
		実	延
令和4年度	6	30	58
令和5年度	5	18	25
令和6年度	4	13	15

※平成30年度からプレママ&ママサロンと同時開催

(6) プレママ&ママサロン (産前・産後サポート事業・デイサービス型)

- ①目的 子育てに関する悩み等に対して、不安や悩みを傾聴し、相談支援（寄り添い）を行う。母親同士の仲間づくりを促し（交流支援）、産婦が家庭や地域における孤立感を軽減することを目的とする。
- ②対象 妊婦と乳児を持つ母親
- ③内容 ミニ講義、参加者同士の情報交換、個別相談等
- ④参加人数

	実施回数	参加者数	
		実	延
令和4年度	6	30	58
令和5年度	5	18	25
令和6年度	4	13	15

※平成30年度から開始

(7) 産前・産後サポート事業 (アウトリーチ型)

- ①目的 子育てに関する悩み等に対して、不安や悩みを傾聴し、相談支援（寄り添い）を行う。産婦が家庭や地域における孤立感を軽減することを目的とする。
- ②対象 妊婦と乳児（主に生後1～4か月児）を持つ母親
- ③内容 家庭訪問、電話相談および来所相談
- ④実施件数

	家庭訪問	電話相談	来所相談
令和4年度	32	54	1
令和5年度	26	52	31
令和6年度	43	16	14

※令和元年度から開始

(8) 産後ケア事業

- ①目的 母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み母子とその家族が、健やかな育児ができるよう支援することを目的とする。
- ②対象 氷見市に住所がある出産後1年までの母親で、下記のいずれかに該当する者
- ・家族などから十分な支援を受けることができない者
  - ・産後の体調不良や育児に不安を感じている者
- ③内容 母親の身体的な回復の支援、授乳の指導及び乳房のケア、母親の話を傾聴する等の心理的支援、新生児及び乳児の状況に応じた具体的な育児指導、家族等の身近な支援者との関係調整、地域で育児をしていく上で必要な社会資源の紹介等を行う。
- ④利用者数

利用数	宿泊型		日帰り型		訪問型	
	実(件)	延(日)	実(件)	延(日)	実(件)	延(日)
令和4年度	3	13	6	13	7	23
令和5年度	2	8	10	13	4	6
令和6年度	7	34	3	3	7	7

※平成30年度から開始

(9) 産前・産後ヘルパー事業

- ①目的 自宅にヘルパーを派遣し、出産直後の家事又は育児の負担を軽減する
- ②対象 氷見市に住所があり、かつ居住する出産後6か月以内の母親又はその配偶者
- ③内容 1) 家事等に関すること  
調理、衣類の洗濯、居室等の清掃・整理整頓、生活必要物品の買い物  
2) 育児等の補助に関すること  
授乳の手伝い、おむつ交換の手伝い、沐浴の手伝い、乳幼児及び小学校に就学中の児童の世話（送迎を除く）、その他必要な育児の補助

④利用者数

	利用申請数	利用実数	ヘルパー派遣回数(延)
令和4年度	19	2	5
令和5年度	15	6	25
令和6年度	7	3	18

※令和3年度から産後ヘルパー事業開始、令和6年度から産前・産後ヘルパー事業に拡充

(10) 子育てなんでも相談

- ①目的 乳幼児をもつ家族が安心して育児できるよう、また、妊婦及び家族が安心して出産や育児にのぞめるよう、妊娠・出産・育児に関する総合的な育児相談を行う。
- ②対象 妊産婦と乳幼児およびその家族
- ③相談の種類  
一般相談：妊娠、出産、育児に関する相談を希望する妊産婦及び乳幼児の家族を対象とする相談  
経過観察児相談：乳幼児健診等の結果、発育・発達等経過観察が必要な児とその家族を対象とする相談  
子育て等に不安を持つ保護者の相談：産後うつや育児不安を強く感じている保護者を対象とする相談

④内容 身体計測・保健相談・栄養相談・心理相談

⑤従事者 公認心理師、保健師、助産師、看護師、栄養士、保育士

⑥相談件数

	実施回数	妊婦		乳児		幼児		計	
		実	延	実	延	実	延	実	延
令和4年度	12	2	2	53	86	17	23	72	111
		(0)	(0)	(9)	(12)	(1)	(1)	(10)	(13)
令和5年度	12	1	1	49	80	10	15	60	96
		(0)	(0)	(16)	(17)	(1)	(1)	(17)	(18)
令和6年度	12	3	3	41	65	12	17	56	85
		(1)	(1)	(5)	(6)	(3)	(3)	(9)	(10)

( ) は心理相談実施者(再掲)

### (11) 妊産婦・乳幼児相談支援

妊娠・出産・子育て期にわたる各種の相談に応じ、保健・医療・福祉の関係機関との連絡調整を行い、妊産婦や乳幼児が健やかに暮らせるよう包括的な支援を実施する。

※令和6年度にこども家庭センターを開設し、これまで「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」がそれぞれに行ってきた支援を、母子保健と児童福祉の両部門が組織として一体的に運営する体制を構築するとともに、相談支援体制の強化を図り、多様化・複雑化する家庭の課題に対し、関係機関と連携した妊娠・出産・子育て期を通じた切れ目のない支援を行い、子育てを支える環境整備を進める。

#### ① 妊婦訪問件数

訪問数 (実)	訪問数 (延)	訪問理由内訳 (延数)	件数 (延)
2	2	身体	0
		精神疾患・精神面要支援等	2
		若年妊娠・未婚	0
		育児環境	0
		初産、転入、高齢	0
		その他	0

#### ② 要支援妊産婦相談支援

	件数 (延)
電話相談	71
来所相談	74
家庭訪問	24
連絡調整	75
計	244

#### ③ 妊産婦・乳幼児一般相談支援

	件数 (延)
電話相談	276
来所相談	88
家庭訪問	0
連絡調整	49
計	413

#### ④ こども家庭センター合同ケース会議

母子保健と児童福祉の両部門が連携し、切れ目のない支援を行うため、合同会議を定期的実施し、妊娠期から子育て期に至る支援方針の共有や、支援が必要な家庭への対応について協議を行うことで、情報共有と役割分担の明確化を図り、早期支援および相談支援につなげる。

	令和6年度
会議実施回数 (回)	12
要支援妊産婦数 (実)	57
要支援児童数 (実)	19
支援件数 (延)	148

### 3 出産子育て応援事業

全ての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育て期まで一貫して相談・支援を行う「伴走型相談支援」、出産育児関連品の購入や子育て支援サービスの利用等における負担軽減を図る「経済的支援」を一体的に実施する。

#### (1) 伴走型相談支援（寄りそい支援）

妊娠期を安心して過ごし、出産・子育てができるよう、保健師や助産師等の専門職が継続した支援を実施する。

妊娠届出時、新生児訪問時に面談を実施。妊娠8か月頃にはアンケートを事前に送付し、希望者に対して対面で面談を実施する。

面談時期	令和4年度 (令和5年1～3月)	令和5年度	令和6年度
妊娠届出（転入者含む）	43	176	169
妊娠8か月頃	36	146	142
新生児訪問等	68	145	144

※令和5年1月開始

※令和4年度は、出産子育て応援事業開始に伴い実施した3か月分（令和5年1月～3月）の実績

#### (2) 経済的支援

①妊娠や育児期の経済的負担軽減を図る目的に、妊娠届出時5万円（出産応援ギフト）、出産後5万円（子育て応援ギフト）を給付する。

また、氷見市独自の給付としてひみっこギフト（第2子5万円、第3子以降15万円）を上乗せする。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
出産応援ギフト	207	215	163
子育て応援ギフト	167	151	151
ひみっこギフト	-	76	92

※令和4年4月1日から12月31日に妊娠届出した者は、令和6年2月までの遡及支給対象者として出産後に10万円を給付。

※令和5年1月1日以降生まれから、妊娠時に出産応援ギフト、出産後に子育て応援ギフトとして各5万円を給付。

※ひみっこギフトは、令和5年度に子育て支援課から事業移管

②子育て世帯の経済的負担の軽減と切れ目ない支援を目的に、1歳6か月児に対して3万円の富山県子育て支援ポイント（とみいくデジタルポイント）を交付する。

	令和6年度 (令和6年11月～3月)
配布数	55

※富山県「子育て応援券」の見直しに伴い、令和5年4月生まれの者から電子化したポイントを配布。氷見市では、令和7年11月実施分の1歳6か月児健康診査の案内から同封し郵送している。

## 4 母子健康教室

乳幼児を養育する家族に対して、情報交換や子育ての学習の場を提供し、安心して育児にあたるよう支援することを目的に実施している。

### (1) パパママ体験教室

①目的 妊婦とその夫を対象に育児における夫婦の役割を学び、夫の妊婦体験、夫婦で赤ちゃんのふれあい体験、育児体験、先輩ママとの情報交換をとおして母性、父性を育てる。また歯科医師による歯の健康づくりに関する講義により、口腔機能の向上、むし歯及び歯周疾患の予防に関する知識の普及を行う。

#### ②実施状況（年間4回実施）

	初産	経産	計	初産夫婦の参加率
夫婦	28組	5組	33組	84.8%
妻のみ	0人	0人	0人	
夫のみ	0人	0人	0人	
夫婦と家族	0組	2組	2組	
妊婦と家族	0組	0組	0組	

再掲	
夫	33人
妻	33人
親	0人
子	2人
計	68人

※令和2年度から子育てセンターの施設見学、赤ちゃんとの触れ合いは中止していたが、感染症対策を行ったうえで、令和5年度から再開。

### (2) 生活習慣病予防や子育て支援のための健康教室

①目的 乳幼児から高校生及びその家族等に対して、健全な生活習慣確立のための情報を提供し、家族ぐるみの健全な生活習慣の実践を促すことで生活習慣病の予防を図る。子どもの生活習慣を振り返り、生涯の基礎となる健全な生活習慣を獲得する。また、保護者の生活習慣改善の機会とする。

#### ②実施状況

名称	内容	開催場所	開催回数	参加数		
				大人	子ども	計
6か月のつどい	乳児と保護者を対象に、離乳食、子どもの事故防止についての育児講座、情報交換を実施	いきいき元気館	4	35	33	68
子育て広場	在宅児と保護者を対象に、睡眠や生活リズムについての育児講座、親を学び伝える学習プログラムを実施	保育園・認定こども園	12	58	57	115
幼児食らくらくメニュー講座	在宅児と保護者を対象に、生活リズムの確立、朝食やおやつについての育児講座、情報交換、幼児食試食	いきいき元気館、公民館	15	70	74	144

むし歯予防講演会	園児や小学生の保護者を対象に、医師または保健師によるむし歯予防、フッ素の利用についての講義、体験	保育園・認定こども園 小学校	1	54	11	65	
健康教室（保育所・認定こども園）	園児と保護者を対象に、講義や情報交換等を実施	保育園・認定こども園	6	99	144	243	
	テーマ別 内訳（再掲）		生活リズム	3	26	51	77
			食事・おやつ	1	0	93	93
			むし歯予防	-	-	-	-
			祖父母講座	2	73	0	73
			親世代の健康づくり	-	-	-	-
離乳食		-	-	-	-		
健康教室（子育て支援拠点施設）	在宅児と保護者を対象に、講義や情報交換等を実施	子育て支援拠点	7	33	29	62	
	テーマ別 内訳（再掲）		生活リズム	-	-	-	-
			食事・おやつ	-	-	-	-
			むし歯予防	-	-	-	-
			祖父母講座	-	-	-	-
			親世代の健康づくり	3	13	12	25
			離乳食	3	13	13	26
			atta会	1	7	4	11
ハンデっ子友の会		0	0	0	0		
三世代ヘルシークッキング	小学生とその家族を対象に、朝食、小児生活習慣病予防についての育児講座、情報交換等を実施	いきいき元気館、公民館	6	35	44	79	
青少年健康づくり支援事業（がん教育） ※実施主体：富山県高岡厚生センター氷見支所	小中学生を対象に、医師及び保健師によるがんについての講義を実施	小学校 中学校	3	0	247	247	
課題研究（食物調理）授業 ※実施主体：富山県立氷見高等学校	高校生を対象に、栄養士による氷見市の健康課題と食生活改善についての講義を実施	高等学校	1	0	5	5	
計			55	384	644	1028	

## 5 発達支援相談

配慮が必要な子どもに対し、年齢や発達の状態に合わせた教室や保護者やその家族の不安の解消を図り相談や支援を行う。令和5年度からこども発達サポートセンターくるむにて実施。

### (1) 親子ふれあい らっこ教室（1歳6か月児健診事後フォロー）

① 目的 発達に気がかりのある幼児とその保護者を対象に親子遊びを通して、親子の愛着形成を促す。あわせて、保護者の不安や心配を聞き、アドバイスを行う。

#### ② 実施状況

	実施回数	参加人数	
		実	延
令和4年度	12	9	31
令和5年度	11	11	49
令和6年度	11	8	28

③ 従事者 保育士、栄養士、臨床心理士、保健師

### (2) いっぱい遊ぼう あひる教室

① 目的 発達に気がかりのある幼児とその保護者を対象に感覚統合の考えを取り入れた遊びを行い、児の発達を促す。あわせて、保護者の不安や心配を聞き、アドバイスを行う。

#### ② 実施状況

	実施回数	参加人数	
		実	延
令和4年度	6	9	23
令和5年度	11	11	30
令和6年度	11	9	57

③ 従事者 作業療法士、保育士、保健師、栄養士、臨床心理士

※令和5年度までは「遊びの教室」として実施

### (3) のびのび ペんぎん教室（3歳児健診事後フォロー）

① 目的 コミュニケーションや集団参加に弱さがある幼児とその保護者を対象に小集団の活動を通して同年代とのコミュニケーションの仕方や集団参加の楽しさやルールを学ぶ。あわせて保護者には子どもの課題を実感し、子どもに合わせた関わり方を学んでもらう。

#### ② 実施状況

	実施回数	参加人数	
		実	延
令和4年度	6	8	25
令和5年度	11	9	40
令和6年度	11	7	43

③ 従事者 保育士、臨床心理士、保健師

#### (4) 保育園等巡回相談

- ① 目的 幼児の療育にかかわる関係機関の専門職がチームを組んで保育所・認定こども園の現場を巡回し、集団生活において配慮が必要な園児の特性の把握や具体的支援方法について話し合い、子ども達のすこやかな成長を支援する。
- ② 実施回数 25回 保育所等 12園
- ③ 従事スタッフ：保育士、保健師、臨床心理士、特別支援専門員（学校教育課）、その他

## 6 思春期保健

思春期は、人生の間で身体面及び精神面における発達の変化の大きい時期であり、この時期における対応が生涯にわたる健康なライフスタイルの形成に重要な影響を与えると考えられる。そのため、思春期の健康づくりについて学校や家庭・地域が連携した効果的な対策を推進することを目的として実施している。

### (1) ウェルカムベイビー事業

①目的 中学校に赤ちゃんと保護者が出向き、中学生が赤ちゃんと触れ合い保護者から育児の様子を見守る喜びを通して、自己肯定感を高め思春期の心の健康づくりを進め、命の大切さを学び将来親になるための準備をする。  
さらに、ライフプランシートを作成することで、結婚や子どもを持つことなどを具体的にイメージする機会をつくる。

②対象 中学2年生

③内容 ア 講義① ・生きる力を持ち備えて生まれてきた自分  
・待ち望まれて生まれてきた自分

イ グループ体験 ・赤ちゃんと触れ合い  
・保護者から成長を見守る喜びを聞く

※令和6年度は3校（南部・十三・西の杜）で直接のふれあい体験、2校はリモートで実施

ウ 講義② ・ライフプランについて

④従事者 助産師、保育士（地域子育てセンター）、保健師

⑤実施状況

実施場所	回数	参加者人数
北部中学校	1回	127名
西の杜学園	1回	19名
西條中学校	1回	94名
南部中学校	1回	51名
十三中学校	1回	20名
計	5回	311名

## 7 子どもの予防接種

各種の感染症に対する免疫の獲得と、感染症の発生および蔓延の予防を目的に実施している。

### (1) 定期予防接種 (A 類疾病)

種類 (標準的な接種年齢)	被接種者数 (人)	
ロタウイルス ※令和2年10月から開始。  (1価: 生後6週1日から生後24週1日の間) (5価: 生後6週1日から生後32週1日の間)	1 価	第1回 33 第2回 29
	5 価	第1回 115 第2回 123 第3回 120
ヒブ (Hib)  (2か月から7か月の間に接種開始)	初回1回目	1
	初回2回目	21
	初回3回目	32
	追加	142
小児用肺炎球菌  (2か月から7か月の間に接種開始)	初回1回目	148
	初回2回目	156
	初回3回目	153
	追加	154
4種混合 ジフテリア (D) 百日せき (P) 破傷風 (T) 不活化ポリオ (IPV) (3か月から1歳の間に接種開始)	初回1回目	1
	初回2回目	21
	初回3回目	33
	追加	161
5種混合 ジフテリア (D) 百日せき (P) 破傷風 (T) 不活化ポリオ (IPV) ヒブ (Hib) ※令和6年4月から開始。 (3か月から1歳の間に接種開始)	初回1回目	147
	初回2回目	133
	初回3回目	121
	追加	9
D P T ジフテリア (D) 百日せき (P) 破傷風 (T) (3か月から1歳の間に接種開始)	第1期初回第1回	0
	第1期初回第2回	0
	第1期初回第3回	0
	第1期追加	0
D T ジフテリア (D) 破傷風 (T)  (小学校6年生)	第2期	273
不活化ポリオ (IPV)  (3か月から1歳の間に接種開始)	第1期初回第1回	0
	第1期初回第2回	0
	第1期初回第3回	0
	第1期追加	0
B型肝炎  (2か月から8か月の間)	第1回	148
	第2回	156
	第3回	155

BCG接種 (5か月から8か月の間)		160
MR(麻しん、風しん混合) (第1期：1歳児 第2期小学校就学前1年間)	第1期	148
	第2期	209
日本脳炎(特例を含む)  (第1期：3歳から接種開始 第2期：9歳)	第1期初回第1回	194
	第1期初回第2回	197
	第1期追加	188
	第2期	247
子宮頸がん予防(女性のみ) ※令和4年4月から、積極的な勧奨再開。 ※接種勧奨が差し控えられていたキャッチアップ接種(平成9年度～平成18年度生まれの女性)も回数に含む。 (定期予防接種：中学校1年生)	第1回	492
	第2回	454
	第3回	357
水痘 (12か月から15か月の間に接種開始)	第1回	145
	第2回	144

## (2) 子どもインフルエンザ予防接種費用助成

子育て世帯の経済的・精神的負担を軽減するため、子ども及び妊婦へのインフルエンザ予防接種に係る費用について助成を行う。

	対象者	対象者数(人)	助成利用者数(人)	
令和2年度	小中学生	1,050	477	
令和3年度	小中学生	2,747	小学生(1回目)	1,024
			小学生(2回目)	693
			中学生	419
令和4年度	小中学生	2,655	小学生(1回目)	904
			小学生(2回目)	608
			中学生	388
令和5年度	小学生	1,593	小学生(1回目)	836
			小学生(2回目)	597
	中学生	961	中学生	404
	高校生	1020	高校生	366
	妊婦	156	妊婦	63
令和6年度	小学生	1,533	小学生(1回目)	828
			小学生(2回目)	620
	中学生	928	中学生	447
	高校生	986	高校生	316
	妊婦	157	妊婦	58

※令和2年度新型コロナウイルス感染拡大によるインフルエンザとの同時流行時の医療機関の負担軽減を図るため、県内全域で開始。

※令和4年度から償還払いを実施。

※令和5年度から対象者を高校生、妊婦に拡大し実施。

## 8 不妊治療費助成事業

特定不妊治療（体外受精又は顕微授精）、男性不妊治療、不育症治療、一般不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部の助成を実施している。特定不妊治療は1年度あたり50万円を、不育症治療は1年度あたり30万円を、一般不妊治療は1年度あたり10万円を上限に助成し、男性不妊治療は全額を助成している。

助成状況

### （1）特定不妊治療（体外受精・顕微授精）

	実（件）	延（件）
令和2年度	34	53
令和3年度	35	47
令和4年度	20	26
令和5年度	22	30
令和6年度	29	48

### （2）男性不妊治療

	実（件）	延（件）
令和2年度	0	0
令和3年度	0	0
令和4年度	0	0
令和5年度	0	0
令和6年度	0	0

### （3）不育症治療

	実（件）	延（件）
令和2年度	3	3
令和3年度	1	1
令和4年度	4	4
令和5年度	1	1
令和6年度	4	4

### （4）一般不妊治療

	実（件）	延（件）
令和2年度	27	31
令和3年度	28	32
令和4年度	21	21
令和5年度	28	28
令和6年度	34	35

## 9 むし歯予防事業

むし歯予防法として有効性が明らかになっているフッ化物の応用とむし歯予防教育、相談を一体的に行なうことで、乳幼児期のむし歯予防を強化し、子どもが生きる力を蓄え、一生自分の歯で食べられる豊かな人生を送るための手助けとなることを目的とし実施する。

### (1) フッ化物洗口事業

#### ① 対象

市内の保育園または認定こども園に在籍し、施設内において洗口動作が十分にできる4歳以上で、保護者の同意が得られた幼児

#### ② 方法

フッ化ナトリウム濃度0.1%または0.2%の洗口液で、1回7ccを週1回または2回、30秒間洗口する。

※平成28年度より週1回法のフッ化ナトリウム濃度を0.2%に変更。

#### ③ 実施状況

	実施施設数				実施園児数								
	所・認定こども園 対象施設数(保育園)	実施施設数	洗口回数		合計			4歳児			5歳児		
			週1回	週2回	対象数(人)	実施数(人)	実施率(%)	対象数(人)	実施数(人)	実施率(%)	対象数(人)	実施数(人)	実施率(%)
令和4年度	12	12	8	4	411	405	98.5	177	175	98.9	234	230	98.3
令和5年度	12	12	9	3	400	332	83.0	167	160	95.9	234	232	99.1
令和6年度	12	12	10	2	344	332	96.5	157	154	98.1	187	178	95.2

### (2) 歯っぴいむし歯予防教室

#### ① 対象

1歳6か月児、2歳児、2歳6か月、3歳児、3歳6か月児でフッ素塗布を希望するもの(1歳6か月児と3歳6か月児は乳幼児健康診査と併せて実施)

#### ② 内容

1歳6か月児から3歳6か月児までの半年ごとに、歯科診察、フッ化物塗布、歯科個別相談及び集団指導、染出し、RDテスト等を実施する。

なお、フッ化物塗布は、歯ブラシ法により実施し、フルオールゼリー(AFP含有、F濃度9,000ppm)を歯面(全顎)に塗布する。

③ 実施状況

		実施回数 (回)	対象者数 (人)	塗布実施者数 (人)	塗布率 (%)
令和6年度	1歳6か月児	12	152	138	90.8
	2歳0か月児 ※1	12	186	167	89.8
	2歳6か月児 ※2	12	184	156	84.8
	3歳0か月児 ※3	12	182	162	89.0
	3歳6か月児 ※4	12	217	188	86.6

※1 :2歳0か月児に対しては平成27年10月から開始

※2 :2歳6か月児に対しては平成28年4月から開始

※3 :3歳0か月児に対しては平成28年10月から開始

※4 :3歳6か月児に対しては平成29年4月から開始

### Ⅲ 健やかな生活を送るためのサービス

# 1 健康相談

健康相談は心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、自らが健康管理の意識の高揚を図ることを目的とする。

健康相談一覧

内 容		開催回数	被指導延人数
重点健康相談	高血圧	1	23
	脂質異常症	0	0
	糖尿病	0	0
	歯周病	0	0
	骨粗鬆症	0	0
	病態別	0	0
総合健康相談		12	393
計		13	416

## (1) いきいき元気館健康なんでも相談（再掲）

目的：生活習慣を改善する必要性が認められる者に対して、具体的な行動変容を促す指導を行い健全な生活習慣の確立をし、疾病発生を予防することを目的に開催する。

実施状況：

期間及び回数	令和6年10月～令和7年1月（年3回）
実施内容	尿検査、血圧・体脂肪測定、医師による個別相談、保健・栄養指導
従事者	金沢医科大学氷見市民病院医師、保健師、栄養士、看護師
被指導延人数	13人

## (2) フレイル予防教室健康相談（市民課主管）

目的：100歳体操参加者に対して、自分の健康状態やフレイル、その予防方法を理解し、生活習慣改善の動機付けとすることを目的に開催する。

実施状況：

期間及び回数	令和6年7月～令和6年11月（年10回）				
実施内容	健康チェック（身体計測、握力測定、問診、血圧測定）、健康講座（フレイルについて）、保健師・栄養士による個別相談				
従事者	保健師・栄養士				
被指導延人数	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	計
	0	24	60	31	115

## 2 健康教育

健康教育は、生活習慣病の予防、健康増進等、健康に関する正しい知識の普及を図ることにより「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高め、壮年期からの健康の保持増進を図ることを目的とする。

### 健康教育一覧（健康づくり教室）

内容	回数	参加人数
一般	70	1,679
歯周疾患	0	0
ロコモティブシンドローム（運動器症候群）	3	46
慢性閉塞性肺疾患（COPD）	0	0
病態別	10	378
薬	0	0
計	83	2,103

※主に壮年期を対象として実施。

### （1）市主催の健康教室

目的：生活習慣病を予防するために具体的な生活指導を行い、生活習慣改善とともに、自身で健康管理できることを目的に開催する。

#### ① 生活習慣病予防等の講座

対象者：市民

月日	テーマ	内容	参加人数
8月9日	がん予防	がん予防についての講演会	21

#### ②ヘルシー食生活講座

対象者：特定健診受診者でメタボリックシンドローム該当者等及び市民

月日	内容	スタッフ	参加人数
2月27日	テーマ「栄養バランスのとれた食事のポイント」 講義、血圧測定、体脂肪測定等	栄養士・保健師・看護師	30

### ③ 運動実践教室

対象者：令和6年度特定保健指導参加者及び市民

月 日	内 容	スタッフ	参加人数
7月8日	テーマ 「血圧が気になる人の運動教室」 講義、実技	健康運動指導士 保健師、栄養士、看護師	38
1月27日	テーマ 「血糖が気になる人のための運動教室」 講義、実技	健康運動指導士 保健師、看護師	31
2月14日	テーマ 「運動が続かない人のためのらくらく体操」 講義、実技	健康運動実践指導者 保健師、看護師	34
3月17日	テーマ 「椅子に座りながらできる簡単ストレッチ」 講義、実技	高齢者体力づくり支援士 保健師、栄養士、看護師	39
計			142

### (2) 地域での健康教室

講座名	内 容	実施回数 (回)	参加人数
健康づくり教室	健康管理など健康づくりについての講義	12	265
運動教室	健康づくりのために効果的な運動についての講義、実技、体力測定など	5	83
健康ウォーキング教室	効果的なウォーキングの方法についての講義、実践	29	786
成人の食改善教室	食事バランスや間食のとり方、塩分のとり方を見直し、生活習慣病を予防する講義、実技	4	67
お口の健康づくり教室	歯周病など歯と口の病気の予防について実技を交えて講義	0	0
ロコモティブシンドローム (運動器症候群)	ロコモティブシンドロームについての講義、実技	2	26
慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	禁煙を促し、COPDの予防についての講義	0	0
病態別	がんなど病気の予防についての講義	7	307
薬	内服薬についての講義	0	0
計		59	1,534

### 3 特定保健指導事業

対象者：氷見市の国民健康保険の被保険者である40歳～74歳の者のうち、令和6年度特定健診の結果、厚生労働省健康局「標準的な健診・保健指導プログラム（令和6年度版）」の保健指導対象者の選定と階層化により、

積極的支援レベルとなった者 75人

動機づけ支援レベルとなった者 248人

#### (1) 実施状況

##### ①年度別実施状況

	積極的支援			動機づけ支援			合計		
	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率
令和4年度	69	20	29.0%	271	128	47.2%	340	148	43.5%
令和5年度	67	18	26.9%	256	85	33.2%	323	103	31.9%
令和6年度	75	23	30.7%	248	122	49.2%	323	145	44.9%

特定健診・特定保健指導実施結果総括表 法定報告値（令和7年11月時点）

##### ②支援レベル別実施状況

#### ア) 積極的支援

内容：初回面接（20分以上の個別面接）とその後3か月以上の継続的な支援を行い、初回面接から3か月経過後に実績評価（面接または通信等）を行う。

実施期間：令和6年10月～令和7年3月（最終評価は令和7年に実施）

実施人数：直営分（個別支援）	… 22人	} 計 23人（実施率30.7%）
委託分（医療機関）	… 1人	
”（業者）	… 0人	

#### イ) 動機づけ支援

内容：初回面接（20分以上の個別面接）とその後3か月経過後に実績評価（面接または通信等）

実施期間：令和6年10月～令和7年3月（最終評価は令和7年に実施）

実施人数：直営分（個別支援）	… 106人	} 計 122人（実施率49.2%）
委託分（医療機関）	… 10人	
”（業者）	… 6人	

(2) 年代別対象者数

区 分	生年月日	積極的支援			動機付け支援			合計
		男性	女性	小計	男性	女性	小計	
40歳～44歳	S55.4.1～S60.3.31	7	0	7	2	2	4	11
45歳～49歳	S50.4.1～S55.3.31	12	3	15	6	3	9	24
50歳～54歳	S45.4.1～S50.3.31	9	4	13	3	5	8	21
55歳～59歳	S40.4.1～S45.3.31	11	3	14	4	3	7	21
60歳～64歳	S35.4.1～S40.3.31	18	8	26	6	8	14	40
65歳～69歳	S30.4.1～S35.3.31				48	34	82	82
70歳～74歳	S25.4.1～S30.3.31				78	46	124	124
合 計		57	18	75	147	101	248	323

特定健診・特定保健指導実施結果総括表 法定報告値（令和7年11月時点）

(3) 年代別実施者数

区 分	生年月日	積極的支援			動機付け支援			合計
		男性	女性	小計	男性	女性	小計	
40歳～44歳	S55.4.1～S60.3.31	2	0	2	2	1	3	5
45歳～49歳	S50.4.1～S55.3.31	4	0	4	4	1	5	9
50歳～54歳	S45.4.1～S50.3.31	2	3	5	0	2	2	7
55歳～59歳	S40.4.1～S45.3.31	2	1	3	1	2	3	6
60歳～64歳	S35.4.1～S40.3.31	6	3	9	1	5	6	15
65歳～69歳	S30.4.1～S35.3.31				25	12	37	37
70歳～74歳	S25.4.1～S30.3.31				41	25	66	66
合 計		16	7	23	74	48	122	145

特定健診・特定保健指導実施結果総括表 法定報告値（令和7年11月時点）

## 4 糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病は放置すると網膜症・腎症・神経障害などの合併症を引き起し、患者の生活の質を著しく低下させる。特に糖尿病性腎症は重症化すると透析治療が必要となる。

そこで、国及び富山県の策定した「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、氷見市医師会と連携の下、平成29年度より、糖尿病性腎症の重症化による新たな透析患者の発生と予防を目的として受診勧奨を実施。平成30年度から受診勧奨に加え、保健指導を実施。令和2年度には、かかりつけ医から専門医への紹介体制を整備。

### (1) 対象者

氷見市の国民健康保険の被保険者である40歳～74歳の者のうち、令和6年度特定健診の結果、以下の基準に該当した者

#### ① 受診勧奨対象者

- ア 糖尿病未治療者（特定健診データとレセプトデータを突合し抽出）であり、HbA1c6.5以上かつ尿たんぱく1+以上またはeGFR60未満の者
- イ 糖尿病治療中断者（過去に糖尿病受診歴があり、最終の受診日から6か月以上受診記録がない者をレセプトデータから抽出）であり、HbA1c6.5以上かつ尿たんぱく1+以上またはeGFR60未満の者

#### ② 保健指導対象者

市内医療機関にて糖尿病治療中（特定健診データとレセプトデータを突合し抽出）の者で、尿たんぱく1+以上またはeGFR45未満の者のうちHbA1c7.0以上8.0未満かつ尿たんぱく1+またはeGFR30以上の者でかかりつけ医から保健指導の依頼があった者

#### ③ かかりつけ医と専門医との連携が必要な対象者

市内医療機関にて糖尿病治療中（特定健診データとレセプトデータを突合し抽出）の者で、尿たんぱく1+以上またはeGFR45未満の者のうちHbA1c8.0以上または尿たんぱく2+以上またはeGFR30未満の者

### (2) 実施内容

#### ① 糖尿病未治療者及び治療中断者に対する受診勧奨

対象者全員に書面で受診勧奨を行った後、受診が確認できない対象者には電話や訪問等での受診勧奨を行う。

受診勧奨の結果、医療機関を受診し、かかりつけ医から保健指導の依頼があった者には、保健指導を実施する。

② 糖尿病治療者に対する保健指導

主治医から保健指導の依頼があった者に対して保健師、管理栄養士等が面談による保健指導を行い、面談後は電話等での事後フォローを行う。

③ 糖尿病治療者におけるかかりつけ医と専門医の連携が必要な対象者

対象者の健診結果をかかりつけ医へ連絡し、専門医への紹介を依頼する。かかりつけ医より市民課に紹介状況について連絡をもらい治療状況の把握を行う。

(3) 実施状況（令和7年4月30日現在）

①受診勧奨

	対象者数（人）	受診勧奨実施者数（人）	医療機関受診者数（人）
令和2年度	36	36	34
令和3年度	41	41	33
令和4年度	56	56	53
令和5年度	41	41	31
令和6年度	51	51	44

②保健指導

	対象者数（人）	保健指導依頼者数（人）	保健指導実施者数（人）
令和2年度	22	11	11
令和3年度	15	2	2
令和4年度	13	2	2
令和5年度	18	6	6
令和6年度	9	5	3

③かかりつけ医から専門医への紹介

	対象者数（人）	専門医への紹介（人）	既に専門医で治療中（人）
令和2年度	39	11	12
令和3年度	28	0	5
令和4年度	26	2	6
令和5年度	29	1	6
令和6年度	13	2	4

## 5 健康診査

健康診査は、がん、心臓病、脳卒中等生活習慣病を予防する対策の一環として、これらの疾患の早期発見を図るために、これらの疾患の疑いのある者又は危険因子をもつ者をスクリーニングする。また、単に医療を要する者の発見だけでなく、診査の結果、必要な者に対し日常生活に関する保健指導や健康管理に関する正しい知識の普及を行うことによって、壮年期からの健康についての認識と自覚の高揚、健康づくりの実践を目的とする。

### (1) 健康診査の種類と実施方法

		いきいき元気館健診	医療機関個別健診
健康診査	39歳以下の健康診査	○	—
	健康増進法による健康診査	○	○
	特定健康診査	○	○
	後期高齢者の健康診査	○	○
肝炎ウイルス検診		○	○
歯周病検診		—	○
骨粗鬆症検診		○	—
胃がん検診	胃エックス線検査 (バリウム)	○	○
	胃内視鏡検査 (胃カメラ)	—	○
子宮がん検診	頸部	○	○
	頸体部	—	○
乳がん検診		○	○
肺がん検診	胸部レントゲン検査	○	○
	ヘリカルCT検査	○	○
大腸がん検診		○	○
前立腺がん検診		○	○
PET-CT 検診		—	○
結核検診		○	○

(2) 健康診査

① 39歳以下の健康診査

ア 対象者

職場等で健康診査を受ける機会のない39歳以下の者（集団方式のみ）。

イ 年度別受診状況

区分	受診数（人）
令和4年度	72
令和5年度	85
令和6年度	77

ウ 年代別受診者数（令和6年度）

区分	総数			男			女		
	集団 （人）	個別 （人）	計 （人）	集団 （人）	個別 （人）	計 （人）	集団 （人）	個別 （人）	計 （人）
39歳以下	77		77	20		20	57		57

エ 主な検査結果

男性

区分	血圧測定実施者			血中脂質検査実施者		
		(再掲)			(再掲)	
		高血圧症 (ア)	高血圧症 (イ)		脂質異常症 (ア)	脂質異常症 (イ)
39歳以下	20	5	5	20	7	6

女性

区分	血圧測定実施者			血中脂質検査実施者		
		(再掲)			(再掲)	
		高血圧症 (ア)	高血圧症 (イ)		脂質異常症 (ア)	脂質異常症 (イ)
39歳以下	57	6	4	57	12	6

高血圧症 (ア)

- ・収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満かつ拡張期血圧が90mmHg未満である者。
- ・収縮期血圧が140mmHg未満かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満である者。

ただし、血圧を下げる薬の服用者を除く。

高血圧症 (イ)

- ・収縮期血圧が140mmHg以上又は拡張期血圧が90mmHg以上の者、若しくは血圧を下げる薬を服用している者。

脂質異常症 (ア)

- ・中性脂肪150mg/dl以上300mg/dl未満かつHDLコレステロール35mg/dl以上かつLDLコレステロール140mg/dl未満である者。
- ・HDLコレステロール35mg/dl以上40mg/dl未満かつ中性脂肪300mg/dl未満かつかつLDLコレステロール140mg/dl未満である者。
- ・LDLコレステロール120mg/dl以上140mg/dl未満かつ中性脂肪300mg/dl未満かつHDLコレステロール35mg/dl以上かつである者。

ただし、コレステロールを下げる薬を服用している者を除く。

脂質異常症 (イ)

- ・中性脂肪300mg/dl以上又はHDLコレステロール35mg/dl未満又はLDLコレステロール140mg/dl以上、若しくはコレステロールを下げる薬を服用している者。

男性

区分	血糖検査実施者			貧血 (疑いを含む)	肝疾患 (疑いを含む)	うち アルコール性 (再掲)	腎機能 障害 (疑いを含む)	たばこ	
		(再掲)						習慣的に 吸っていない	習慣的に 吸っている
		糖尿病 (ア)	糖尿病 (イ)						
39歳以下	20	6	0	0	7	3	2	17	3

女性

区分	血糖検査実施者			貧血 (疑いを含む)	肝疾患 (疑いを含む)	うち アルコール性 (再掲)	腎機能 障害 (疑いを含む)	たばこ	
		(再掲)						習慣的に 吸っていない	習慣的に 吸っている
		糖尿病 (ア)	糖尿病 (イ)						
39歳以下	57	11	1	0	5	5	3	55	2

糖尿病 (ア)

ヘモグロビンA1c5.6%以上6.5%未満の者。ただし、インスリン注射又は血糖を下げる薬を服用している者を除く。

糖尿病 (イ)

ヘモグロビンA1c6.5%以上であるか、インスリン注射又は血糖を下げる薬を服用している者。

② 健康増進法による健康診査

ア 対象者

市町村が健康増進法に基づき実施する40歳以上の健康診査で、医療保険者に義務づけられた健康診査の対象とならない者。

イ 年度別受診状況

区分	対象者数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)
令和4年度	128	12	9.4
令和5年度	106	11	10.4
令和6年度	103	9	8.7

ウ 年代別受診者数 (令和6年度)

区分	総数			男			女		
	集団 (人)	個別 (人)	計 (人)	集団 (人)	個別 (人)	計 (人)	集団 (人)	個別 (人)	計 (人)
40歳代	0	1	1	0	0	0	0	1	1
50歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	0	1	1	0	1	1	0	0	0
65～69歳	1	2	3	1	0	1	0	2	2
70～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75歳以上	0	4	4	0	1	1	0	3	3
計	1	8	9	1	2	3	0	6	6

エ 主な検査結果

男性

区分	血圧測定実施者			血中脂質検査実施者		
		(再掲)			(再掲)	
		高血圧症 (ア)	高血圧症 (イ)		脂質異常症 (ア)	脂質異常症 (イ)
40歳～49歳	0	0	0	0	0	0
50歳～59歳	0	0	0	0	0	0
60歳～64歳	1	0	0	1	0	0
65歳～69歳	1	0	0	1	0	0
70歳～74歳	0	0	0	0	0	0
75歳以上	1	0	1	1	0	0
計	3	0	1	3	0	0

女性

区分	血圧測定実施者			血中脂質検査実施者		
		(再掲)			(再掲)	
		高血圧症 (ア)	高血圧症 (イ)		脂質異常症 (ア)	脂質異常症 (イ)
40歳～49歳	1	0	1	1	0	1
50歳～59歳	0	0	0	0	0	0
60歳～64歳	0	0	0	0	0	0
65歳～69歳	2	2	0	2	0	2
70歳～74歳	0	0	0	0	0	0
75歳以上	3	1	1	3	0	1
計	6	3	2	6	0	4

高血圧症 (ア)

- ・収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満かつ拡張期血圧が90mmHg未満である者。
- ・収縮期血圧が140mmHg未満かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満である者。

ただし、血圧を下げる薬の服用者を除く。

高血圧症 (イ)

- ・収縮期血圧が140mmHg以上又は拡張期血圧が90mmHg以上の者、若しくは血圧を下げる薬を服用している者。

脂質異常症 (ア)

- ・中性脂肪150mg/dl以上300mg/dl未満かつHDLコレステロール35mg/dl以上かつLDLコレステロール140mg/dl未満である者。
- ・HDLコレステロール35mg/dl以上40mg/dl未満かつ中性脂肪300mg/dl未満かつかつLDLコレステロール140mg/dl未満である者。
- ・LDLコレステロール120mg/dl以上140mg/dl未満かつ中性脂肪300mg/dl未満かつHDLコレステロール35mg/dl以上かつである者。

ただし、コレステロールを下げる薬を服用している者を除く。

脂質異常症 (イ)

- ・中性脂肪300mg/dl以上又はHDLコレステロール35mg/dl未満又はLDLコレステロール140mg/dl以上、若しくはコレステロールを下げる薬を服用している者。

男性

区分	血糖検査実施者			貧血 (疑いを含む)	肝疾患 (疑いを含む)	うち アルコール性 (再掲)	腎機能 障害 (疑いを含む)	たばこ	
		(再掲)						習慣的に 吸っていない	習慣的に 吸っている
		糖尿病 (ア)	糖尿病 (イ)						
40歳～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50歳～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60歳～64歳	1	0	0	0	1	1	0	0	1
65歳～69歳	1	1	0	0	0	0	0	0	1
70歳～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75歳以上	1	0	1	0	0	0	0	1	0
計	3	1	1	0	1	1	0	1	2

女性

区分	血糖検査実施者			貧血 (疑いを含む)	肝疾患 (疑いを含む)	うち アルコール性 (再掲)	腎機能 障害 (疑いを含む)	たばこ	
		(再掲)						習慣的に 吸っていない	習慣的に 吸っている
		糖尿病 (ア)	糖尿病 (イ)						
40歳～49歳	1	0	0	0	1	1	0	0	1
50歳～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60歳～64歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65歳～69歳	2	1	0	0	0	0	0	2	0
70歳～74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75歳以上	3	1	0	0	1	1	1	2	1
計	6	2	0	0	2	2	1	4	2

糖尿病 (ア)

ヘモグロビンA1c5.6%以上6.5%未満の者。ただし、インスリン注射又は血糖を下げる薬を服用している者を除く。

糖尿病 (イ)

ヘモグロビンA1c6.5%以上であるか、インスリン注射又は血糖を下げる薬を服用している者。

③ 特定健康診査

ア 対象者

昭和24年9月1日から昭和60年3月31日までに生まれた、氷見市内に住所を有する国民健康保険の加入者(市町村国保)。

(ただし、対象者であっても、厚生労働大臣が定める者(妊産婦・刑務所入所中、海外在住、6ヶ月以上継続して入院している者、施設入居者等)は対象者から除く)

イ 年度別実施状況

	対象者数(人)	受診数(人)	受診率(%)
令和4年度	6,725	3,152	46.9
令和5年度	6,294	3,102	49.3
令和6年度	5,889	2,908	49.4

令和4、5、6年度は法定報告値(令和7年11月4日時点)

ウ 年代別受診率(令和6年度)

区 分	総数		男		女	
	計(人)	受診率(%)	計(人)	受診率(%)	計(人)	受診率(%)
40歳～44歳	52	25.7	30	27.5	22	23.7
45歳～49歳	101	30.1	45	23.0	56	40.3
50歳～54歳	111	29.9	53	24.3	58	37.9
55歳～59歳	135	35.6	57	31.1	78	39.8
60歳～64歳	244	43.4	102	42.9	142	43.8
65歳～69歳	791	54.0	310	47.9	481	58.8
70歳～74歳	1,474	57.2	610	52.0	864	61.7
計	2,908	49.4	1,207	43.7	1,701	54.4

特定健診・特定保健指導実施結果総括表 法定報告値(令和7年11月4日時点)

④ 後期高齢者の健康診査

ア 対象者

昭和24年8月31日までに生まれた（昭和34年8月31日以前生まれで一定以上の障害を持つ者も含む）氷見市内に住所を有する後期高齢者医療制度の加入者。

（ただし、対象者であっても、厚生労働大臣が定める者（妊産婦・刑務所入所中、海外在住、6ヶ月以上継続して入院している者、施設入居者等）は上記対象者から除く）

イ 年度別実施状況

	対象者数（人）	受診数（人）	受診率（%）
令和4年度	9,089	3,384	37.2
令和5年度	9,334	3,494	37.4
令和6年度	9,545	3,735	39.1

令和4、5、6年度 法定報告値（令和7年6月）

ウ 年代別受診率（令和6年度）

区 分	総数		男		女	
	計（人）	受診率（%）	計（人）	受診率（%）	計（人）	受診率（%）
65～74歳	33	15.9	21	19.8	12	11.9
75～79歳	1,611	40.0	732	38.6	879	41.2
80～84歳	1,115	42.4	456	43.5	659	41.7
85～89歳	637	36.2	230	37.9	407	35.2
90～94歳	242	23.5	74	27.4	168	22.1
95～99歳	50	18.1	10	16.7	40	18.4
100歳～	2	4.9	0	0	2	6.5
計	3,690	37.0	1,523	38.1	2,167	36.2

健診結果統括表 速報値（令和7年3月）

### (3) 肝炎ウイルス検診

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、住民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導等を受け、医療機関に受診することにより、肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し、進行を遅延させることを目的とする。

#### ①肝炎ウイルス検診の受診者数及び項目別の検査結果

	40歳検診										対象者数
	受診者			B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診					
	B型	C型	B型C型同時(再掲)	陽性	陰性	判定①	判定②	判定③	判定④	判定⑤	
40歳	16	17	16	0	16	0	0	0	17	0	397

	40歳検診以外の対象者への検診									
	受診者			B型肝炎ウイルス検診		C型肝炎ウイルス検診				
	B型	C型	B型C型同時(再掲)	陽性	陰性	判定①	判定②	判定③	判定④	判定⑤
41～44歳	3	3	3	0	3	0	0	0	3	0
45～49歳	8	8	8	0	8	0	0	0	8	0
50～54歳	15	15	15	0	15	0	0	0	15	0
55～59歳	14	14	14	1	13	0	0	0	14	0
60～64歳	23	23	23	0	23	0	0	0	23	0
65～69歳	18	18	18	0	18	0	0	0	18	0
70～74歳	31	31	31	0	31	0	0	0	31	0
75～79歳	11	11	11	0	11	0	0	0	11	0
80歳以上	6	6	6	0	6	0	0	0	6	0
計	129	129	129	1	128	0	0	0	129	0

※C型肝炎ウイルス検査判定結果、①②が「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い」、③④⑤が「現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が低い」と判定された

#### ② 肝炎ウイルス感染者率

区分	B型			C型		
	受診数(人)	感染数(人)	感染者発見率	受診数(人)	感染数(人)	感染者発見率
40歳検診	16	0	0.0%	17	0	0.0%
40歳検診以外の対象者への検診	129	1	0.8%	129	0	0.0%

#### (4) 歯周病検診

歯周病は、歯の喪失の原因となることから、早期に歯周病を発見し、いつまでも食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防することを目的とする。

※歯周病検診は平成13年度から実施。歯周病検診は平成26年度から市内歯科医療機関での個別検診にて実施。

対象者：当該年度において20、30、40、50、60、70歳（令和7年3月31日現在の年齢）となる者

年齢別・指導区分別受診状況

区分 年代	対象者	受診者数			異常なし	要指導	要精検	受診率
		男	女	計				
20歳	335	8	2	10	0	8	2	3.0%
30歳	284	3	9	12	2	3	7	4.2%
40歳	397	2	7	9	1	4	4	2.3%
50歳	642	19	15	34	6	10	18	5.3%
60歳	542	9	25	34	9	8	17	6.3%
70歳	705	16	43	59	14	15	30	8.4%
計	2905	57	101	158	32	48	78	5.4%

※令和6年度から20歳、30歳を対象者に追加

#### (5) 骨粗鬆症検診

骨粗鬆症は、骨折などの基礎疾患となり、寝たきりの原因となることから、早期に骨量減少者を発見し、骨粗鬆症を予防することを目的とする。

※骨粗鬆症検診は平成13年度から実施。

対象者：当該年度において40、45、50、55、60、65、70歳（令和7年3月31日現在の年齢）となる者

節目年齢別・指導区分別受診状況

区分 年代	対象者	受診者数	異常なし	要指導	要精検	受診率
40歳	177	7	7	0	0	4.0%
45歳	216	2	2	0	0	0.9%
50歳	313	7	7	0	0	2.2%
55歳	345	10	8	1	1	2.9%
60歳	307	11	6	3	2	3.6%
65歳	344	16	2	7	7	4.7%
70歳	358	13	0	5	8	3.6%
計	2,060	66	32	16	18	3.2%

精密検査結果（令和5年度）

区分	精密検査結果						
	要精検 者数	正常	骨量減少	骨粗 鬆症	骨粗鬆症 以外の 疾患	その他	未受診
40歳	0	0	0	0	0	0	0
45歳	0	0	0	0	0	0	0
50歳	0	0	0	0	0	0	0
55歳	1	0	0	0	0	0	1
60歳	2	0	0	2	0	0	0
65歳	6	0	0	3	0	0	3
70歳	11	2	2	3	1	0	3
計	20	2	2	8	1	0	7

(6) がん検診

がん検診は、がんを早期に発見し、適切な治療に導くことにより、がんの死亡率を減少させることを目的とする。

(注1) 75歳以上の者は過去3年受診歴の有る者のみに受診券を発行しているため、平成25年度集計から対象者数=受診者数としている。

① 胃がん検診（40歳以上を対象に実施）

ア 年度別受診状況

区分	氷見市						
	対象者数（人）	受診者数（人）			受診率（%）		
		総数	X線	内視鏡	総数	X線	内視鏡
令和4年度	12,173	3,039	709	2,330	25.0	5.8	19.1
令和5年度	11,619	3,151	672	2,479	27.1	5.8	21.3
令和6年度	11,158	3,130	626	2,504	28.1	5.6	22.4

イ 年代別・男女別受診率（X線検査）

区分	総数				男				女			
	集団（人）	個別（人）	計（人）	受診率（%）	集団（人）	個別（人）	計（人）	受診率（%）	集団（人）	個別（人）	計（人）	受診率（%）
40～44歳	22	1	23	3.6	7	1	8	3.9	15	0	15	3.5
45～49歳	18	3	21	2.5	2	0	2	0.6	16	3	19	3.8
50～54歳	29	3	32	3.1	11	1	12	3.0	18	2	20	3.1
55～59歳	34	5	39	4.0	6	2	8	2.4	28	3	31	4.9
60～64歳	52	14	66	5.4	18	4	22	5.5	34	10	44	5.4
65～69歳	70	31	101	5.0	35	19	54	6.2	35	12	47	4.0
70～74歳	77	54	131	4.2	40	36	76	5.5	37	18	55	3.2
75～79歳	78	71	149	19.5	35	45	80	22.7	43	26	69	16.8
80歳以上	26	38	64	11.7	18	29	47	18.7	8	9	17	5.7
計	406	220	626	5.6	172	137	309	6.8	234	83	317	4.8

ウ 年代別・男女別受診率（内視鏡検査）

区分	総数		男		女	
	個別（人）	受診率（%）	個別（人）	受診率（%）	個別（人）	受診率（%）
40～44歳	35	5.5	6	2.9	29	6.8
45～49歳	65	7.8	17	5.2	48	9.5
50～54歳	104	10.0	24	6.1	80	12.4
55～59歳	136	14.0	42	12.7	94	14.8
60～64歳	192	15.7	51	12.7	141	17.2
65～69歳	347	17.0	137	15.8	210	17.9
70～74歳	527	17.0	210	15.2	317	18.4
75～79歳	614	80.5	272	77.3	342	83.2
80歳以上	484	88.3	205	81.3	279	94.3
計	2,504	22.4	964	21.3	1,540	23.2

エ X線検査 精密検査結果 (令和5年度)

区分	X線検査								
	要精検者数	異常なし	がん	(再掲)			がん 疑い	がん以外 の疾患	未受診
				早期 がん	進行 がん	不明			
40～44歳	1	0	0	0	0	0	0	1	0
45～49歳	1	1	0	0	0	0	0	0	0
50～54歳	2	0	0	0	0	0	0	2	0
55～59歳	2	1	0	0	0	0	0	1	0
60～64歳	5	0	0	0	0	0	0	4	1
65～69歳	6	0	0	0	0	0	0	6	0
70～74歳	16	0	1	1	0	0	0	13	2
75～79歳	6	0	0	0	0	0	0	5	1
80歳以上	7	0	1	1	0	0	0	3	3
計	46	2	2	2	0	0	0	35	7

オ 内視鏡検査 精密検査結果 (令和5年度)

区分	内視鏡検査								
	要精検者数	異常なし	がん	(再掲)			がん 疑い	がん以外 の疾患	未受診
				早期 がん	進行 がん	不明			
40～44歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45～49歳	4	4	0	0	0	0	0	0	0
50～54歳	3	2	0	0	0	0	0	1	0
55～59歳	5	3	1	0	0	1	0	1	0
60～64歳	13	7	0	0	0	0	0	3	3
65～69歳	23	15	0	0	0	0	0	8	0
70～74歳	53	38	2	2	0	0	4	7	2
75～79歳	49	30	4	2	0	2	0	13	2
80歳以上	50	30	6	4	0	2	2	11	1
計	200	129	13	8	0	5	6	44	8

※ 子宮がん検診受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷「当該年度の対象者数」×100  
受診率の算定対象年齢を20歳から74歳までとして計算している。

② 子宮がん検診（20歳以上の女性を対象に実施）

ア 年度別受診状況

区分	氷見市		
	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率*（%）
令和4年度	8,248	1,424 (内 頸体部 527)	26.2
令和5年度	7,776	1,317 (内 頸体部 510)	24.9
令和6年度	7,312	1,338 (内 頸体部 519)	25.7

イ 年代別受診率

区分	女			
	集団 (人)	個別 (人)	計 (人)	受診率 (%)
20～24 歳	3	13	16	3.3
25～29 歳	10	24	34	12.9
30～34 歳	18	34	52	18.7
35～39 歳	20	57	77	21.7
40～44 歳	32	65	97	22.6
45～49 歳	33	89	122	24.3
50～54 歳	38	141	179	27.7
55～59 歳	53	131	184	28.9
60～64 歳	66	119	185	22.6
65～69 歳	78	94	172	14.6
70～74 歳	103	117	220	12.8
75～79 歳	71	57	128	100.0
80 歳以上	30	32	62	100.0
計	555	973	1,528	20.4

ウ 精密検査結果 (令和5年度)

区分	要精検者数	異常なし	がん	(再掲)		異形成	がん疑い	がん・異形成以外の疾患	未受診
				早期がん	進行がん				
20～24 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29 歳	1	0	0	0	0	1	0	0	0
30～34 歳	1	0	0	0	0	1	0	0	0
35～39 歳	2	1	0	0	0	1	0	0	0
40～44 歳	3	0	0	0	0	1	0	1	1
45～49 歳	2	1	0	0	0	1	0	0	0
50～54 歳	1	0	0	0	0	1	0	0	0
55～59 歳	1	1	0	0	0	0	0	0	0
60～64 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65～69 歳	1	1	0	0	0	0	0	0	0
70～74 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75～79 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	12	4	0	0	0	6	0	1	1

※平成30年度から要精検者数に「要精検1 (ASC-US)」と判定された者も計上している。

③ 乳がん検診（20歳以上の女性を対象に実施）

ア 年度別受診状況（40歳以上の女性）

区分	氷見市		
	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率*（%）
令和4年度	6,644	1,345	28.7
令和5年度	6,283	1,304	28.2
令和6年度	5,934	1,283	29.4

イ 年代別受診率（40歳以上の女性）

区分	女			
	集団（人）	個別（人）	計（人）	受診率（%）
40～44歳	50	44	94	21.9
45～49歳	57	72	129	25.6
50～54歳	66	108	174	26.9
55～59歳	81	103	184	28.9
60～64歳	97	101	198	24.1
65～69歳	95	121	216	18.4
70～74歳	130	158	288	16.7
75～79歳	96	128	224	100.0
80歳以上	39	59	98	100.0
計	711	894	1,605	25.7

※乳がん検診受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷「当該年度の対象者数」×100  
受診率の算定対象年齢を40歳から74歳までとして計算している。

ウ 年代別受診率（20歳以上40歳未満の女性）

区分	女			
	集団（人）	個別（人）	計（人）	受診率（%）
20～24歳	8	12	20	4.2
25～29歳	18	18	36	13.6
30～34歳	20	19	39	14.0
35～39歳	25	40	65	18.3
計	71	89	160	11.6

エ 精密検査結果（40歳以上の女性）（令和5年度）

区分	40歳以上の女性								
	要精検者数	異常なし	がん	(再掲)			がん疑い	がん以外の疾患	未受診
				早期がん	進行がん	不明			
40～44歳	6	4	0	0	0	0	0	1	1
45～49歳	5	2	0	0	0	0	0	3	0
50～54歳	6	4	0	0	0	0	0	1	1
55～59歳	3	0	0	0	0	0	0	2	1
60～64歳	4	2	1	0	0	1	0	1	0
65～69歳	9	3	1	0	0	1	0	3	2
70～74歳	3	0	0	0	0	0	0	1	2
75～79歳	7	3	1	1	0	0	0	3	0
80歳以上	1	0	0	0	0	0	0	1	0
計	44	18	3	1	0	2	0	16	7

※平成17年度から、40歳代マンモグラフィ2方向撮影開始。

オ 精密検査結果（20歳以上40歳未満の女性）（令和5年度）

区分	20歳以上40歳未満の女性								
	要精検者数	異常なし	がん	(再掲)			がん 疑い	がん以外 の疾患	未受診
				早期 がん	進行 がん	不明			
20～24歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29歳	1	1	0	0	0	0	0	0	0
30～34歳	4	1	0	0	0	0	0	2	1
35～39歳	3	1	0	0	0	0	0	2	0
計	8	3	0	0	0	0	0	4	1

④ 肺がん検診（40歳以上を対象に実施）

ア 年度別受診状況（X線検査のみ） ※（ ）内は喀痰検査受診者数

区分	氷見市		
	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率（%）
令和4年度	14,113	5,915 (44)	41.9
令和5年度	13,487	5,869 (32)	43.5
令和6年度	13,030	5,705 (42)	43.8

イ 年代別・男女別受診率

※（ ）内は喀痰検査受診者数

区分	総数				男				女			
	集団 (人)	個別 (人)	計 (人)	受診率 (%)	集団 (人)	個別 (人)	計 (人)	受診率 (%)	集団 (人)	個別 (人)	計 (人)	受診率 (%)
40～ 44歳	27	29	56	8.8	7	11	18	8.7	20	18	38	8.9
45～ 49歳	29	58	87	10.5	3	21	24	7.4	26	37	63	12.5
50～ 54歳	36	102	138	13.2	11	36	47	11.9	25	66	91	14.1
55～ 59歳	53	112 (1)	165 (1)	17.0	13	34 (1)	47 (1)	14.2	40	78	118	18.5
60～ 64歳	56	231 (1)	287 (1)	23.5	18	72 (1)	90 (1)	22.3	38	159	197	24.0
65～ 69歳	97	543 (5)	640 (5)	31.4	42	204 (4)	246 (4)	28.4	55	339 (1)	394 (1)	33.5
70～ 74歳	115	1,034 (11)	1,149 (11)	37.0	51	394 (10)	445 (10)	32.2	64	640 (1)	704 (1)	40.9
75～ 79歳	86	1,356 (9)	1,442 (9)	100.0	33	576 (6)	609 (6)	100.0	53	780 (3)	833 (3)	100.0
80歳 以上	43	1,698 (15)	1,741 (15)	100.0	19	607 (14)	626 (14)	100.0	24	1,091 (1)	1,115 (1)	100.0
計	542 (0)	5,163 (42)	5,705 (42)	43.8	197 (0)	1,955 (36)	2,152 (36)	41.8	345 (0)	3,208 (6)	3,553 (6)	45.1

ウ 精密検査結果・X線（令和5年度）※読影E判定の結果のみ

区分	要精検者数	異常なし	がん	(再掲)			がん 疑い	がん以外 の疾患	未受診
				早期 がん	進行 がん	不明			
40～44歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1
45～49歳	4	1	0	0	0	0	1	1	1
50～54歳	2	2	0	0	0	0	0	0	0
55～59歳	1	0	0	0	0	0	0	1	0
60～64歳	5	2	0	0	0	0	0	3	0
65～69歳	30	14	0	0	0	0	3	9	4
70～74歳	39	16	0	0	0	0	5	14	4
75～79歳	43	16	2	0	0	2	3	14	8
80歳以上	71	19	0	0	0	0	6	37	9
計	196	70	2	0	0	2	18	79	27

エ ヘリカルCT受診状況 ※平成21年度より開始。令和6年度より個別検診開始。

区分	総数			男			女		
	集団	個別	計	集団	個別	計	集団	個別	計
40～44歳	1	4	5	0	1	1	1	3	4
45～49歳	2	8	10	0	4	4	2	4	6
50～54歳	4	6	10	0	2	2	4	4	8
55～59歳	4	10	14	2	5	7	2	5	7
60～64歳	11	12	23	4	5	9	7	7	14
65～69歳	5	36	41	3	21	24	2	15	17
70～74歳	10	48	58	5	24	29	5	24	29
75～79歳	13	41	54	9	24	33	4	17	21
80歳以上	1	33	34	0	13	13	1	20	21
計	51	198	249	23	99	122	28	99	127

オ ヘリカルCT精密検査結果（令和5年度）

区分	精密検査結果					
	要精検者数	異常なし	がん	がん疑い	がん以外 の疾患	未受診
40～44歳	0	0	0	0	0	0
45～49歳	0	0	0	0	0	0
50～54歳	0	0	0	0	0	0
55～59歳	0	0	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0	0	0
65～69歳	3	0	0	0	2	1
70～74歳	2	0	0	0	2	0
75～79歳	2	0	0	0	2	0
80歳以上	1	0	1	0	0	0
計	8	0	1	0	6	1

⑤ 大腸がん検診（40歳以上を対象に実施）

ア 年度別受診状況

区分	氷見市		
	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率（%）
令和4年度	12,645	3,871	30.6
令和5年度	12,069	3,927	32.5
令和6年度	11,676	4,057	34.7

イ 年代別・男女別受診率

区分	総数				男				女			
	集団（人）	個別（人）	計（人）	受診率（%）	集団（人）	個別（人）	計（人）	受診率（%）	集団（人）	個別（人）	計（人）	受診率（%）
40～44歳	35	34	69	10.8	10	6	16	7.7	25	28	53	12.4
45～49歳	29	66	95	11.5	3	19	22	6.7	26	47	73	14.5
50～54歳	39	105	144	13.8	8	30	38	9.6	31	75	106	16.4
55～59歳	53	119	172	17.8	11	37	48	14.5	42	82	124	19.5
60～64歳	69	208	277	22.6	19	61	80	19.9	50	147	197	24.0
65～69歳	91	457	548	26.9	39	172	211	24.4	52	285	337	28.7
70～74歳	115	808	923	29.7	49	310	359	25.9	66	498	564	32.7
75～79歳	85	931	1,016	100.0	37	408	445	100.0	48	523	572	100.0
80歳以上	26	787	813	100.0	12	343	355	100.0	14	444	458	100.0
計	542	3,515	4,057	34.7	188	1,386	1,574	33.4	354	2,129	2,483	35.7

ウ 精密検査結果（令和5年度）

区分	要精検者数	異常なし	がん	(再掲)			がん 疑い	がん以外 の疾患	未受診
				早期 がん	進行 がん	不明			
40～44歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1
45～49歳	2	1	0	0	0	0	0	0	1
50～54歳	5	2	0	0	0	0	0	1	2
55～59歳	10	0	0	0	0	0	0	6	4
60～64歳	14	2	0	0	0	0	0	10	2
65～69歳	35	3	2	1	0	1	0	22	8
70～74歳	66	3	4	3	0	1	0	39	20
75～79歳	77	3	4	2	0	2	0	51	19
80歳以上	78	7	6	4	0	2	0	44	21
計	288	21	16	10	0	6	0	173	78

※精密検査結果は、便潜血検査のみによる再検査受診者の結果を除く。

⑥ 前立腺がん検診（50歳以上75歳未満の男性を対象に実施）

ア 年度別受診状況

区分	氷見市		
	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率（%）
令和4年度	3,827	738	19.3
令和5年度	3,564	747	21.0
令和6年度	3,380	695	20.6

イ 年代別受診状況

区分	集団(人)	個別(人)	計(人)	受診率(%)
50～54歳	11	22	33	8.3
55～59歳	12	44	56	16.9
60～64歳	18	69	87	21.6
65～69歳	36	161	197	22.8
70～74歳	43	279	322	23.3
計	120	575	695	20.6

ウ 精密検査結果（令和5年度）

区分	要精検者数	異常なし	がん	(再掲)			がん 疑い	がん以外 の疾患	前立腺 肥大症	未受診
				早期 がん	進行 がん	不明				
50～54歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
55～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～64歳	4	1	0	0	0	0	0	1	2	0
65～69歳	8	2	0	0	0	0	0	0	2	4
70～74歳	12	0	2	0	0	2	0	1	5	4
計	25	3	2	0	0	2	0	2	10	8

## ⑦ PET-CT検診費助成事業

氷見市が指定する医療機関で受けたPET-CT検診に要した費用のうち、年度当たり1回に限り、2万円を上限として助成を実施。(令和元年度より開始)

### (1) 指定医療機関

金沢医科大学氷見市民病院健康管理センター※、とやまPET-CT画像診断センター、富山県厚生農業協同組合連合会厚生連高岡病院健康管理センター

※PET-CT検査は金沢医科大学病院で行い、結果説明は氷見市民病院で行う。

### ア 助成人数

区分	受診者数		
	総数	男	女
39歳以下	0	0	0
40～44歳	1	1	0
45～49歳	1	0	1
50～54歳	1	1	0
55～59歳	2	2	0
60～64歳	2	1	1
65～69歳	1	1	0
70～74歳	3	0	3
75～79歳	2	1	1
80歳以上	1	0	1
計	14	7	7

### イ 検査結果

区分	異常なし	要精検	その他 病変	結果提供 拒否
計	11	3	0	0

(注) 平成26年度集計から結核検診対象者を65歳以上の受診券発送者としている。

## 6 結核検診

結核予防事業は、結核の予防及び結核患者に対し適正な医療の普及を図り、結核が個人的にも社会的にも害を及ぼすことを防止し、公共の福祉を増進することを目的とする。

### ① 受診状況

区分	対象者	受診者			受診率 (%)	要精検者		精密検査受診者数	
		集団 (人)	個別 (人)	計 (人)		集団 (人)	個別 (人)	集団 (人)	個別 (人)
令和4年度	10,853	377	4,797	5,174	47.7	8	329	7	272
令和5年度	10,460	364	4,791	5,155	49.3	9	306	8	267
令和6年度	10,184	370	4,789	5,159	50.7	7	318	7	290

※平成17年度の結核予防法一部改正により、対象を65歳以上とした。

平成19年3月31日をもって結核予防法は廃止され、同年4月1日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に統合された。

※令和2年度集計よりヘリカルCT肺がん検診分も実績に計上する。

### ② 年代別・結果別受診状況

区分	受診者数	要精密 検査者	精密検査結果				
			異常なし	結核	結核以外 の疾患	未受診	
65～69歳	681	35	12	0	20	3	
70～74歳	1,207	55	23	0	25	7	
75～79歳	1,496	94	40	0	51	3	
80歳以上	1,775	141	42	0	84	15	
計	5,159	325	117	0	180	28	
検診方式 (再掲)	個別	4,789	318	115	0	175	28
	集団	370	7	2	0	5	0

## 7 訪問指導

療養上の保健指導が必要であると認められる者及びその家族に対し、保健師等が訪問し、本人及びその家族に対し必要な保健指導を行い、心身機能の低下の防止と健康の保持増進を図ることを目的に実施している。

### 訪問対象者

40歳～74歳の氷見市民で特定健診を受診した結果で下記の①～②の者を優先的に訪問する。  
ただし、他事業でフォローしている者は除く。

①特定健診でHbA1cが6.5以上になった糖尿病未治療者

②特定健診で診察室高血圧値（収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上）になった高血圧未治療者

対象者の選定に当たっては①～②の他に特定健診の結果や治療状況等を考慮し決定する。

### 訪問指導実施状況

区 分	被訪問指導実人員	被訪問指導延人員
要指導者等	54	55
その他	0	0
計	54	55

## 8 成人・高齢者の予防接種

### (1) 風しんの抗体検査及び予防接種

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性については、風しんの予防接種をこれまで公的に受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べ低いことから予防接種法に基づく定期接種（A類）の対象とし、令和元年度から令和3年度までの3年間に限り、風しんの追加的対策として、風しんの抗体検査及び定期的予防接種（第5期）を実施していたが、新型コロナウイルスによる受診控えや健康診断の中止などが影響し、抗体保有率が当初目標を達成できなかったため、令和6年度まで延長して実施された。

対象者：ア 抗体検査：昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性

イ 予防接種：抗体検査対象者のうち、抗体検査の陰性者

(単位：人)	抗体検査受診者数(人)	被接種者数(人)
令和2年度	1,117	305
令和3年度	369	152
令和4年度	181	66
令和5年度	22	18
令和6年度	135	59

### (2) 季節性インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症及び肺炎球菌感染症（B類） 予防接種

個人の発病・重症化の予防及びその積み重ねとして間接的な集団予防を図ることを目的に実施している。

#### ① 季節性インフルエンザ予防接種

対象者：ア 65歳以上の者

イ 60歳以上65歳未満で心臓、じん臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する者（身障手帳1級相当）

	対象者数(人)			被接種者数(人)		
	60歳以上 65歳未満	65歳以上	計	60歳以上 65歳未満	65歳以上	計
令和2年度	16	17,952	17,968	11	10,608	10,619
令和3年度	10	16,788	16,798	10	8,750	8,760
令和4年度	13	17,548	17,561	13	8,705	8,718
令和5年度	15	17,361	17,376	8	8,262	8,270
令和6年度	16	17,407	17,423	12	8,248	8,260

※平成13年度から実施。

② 肺炎球菌感染症予防接種

対象者：ア 65歳

イ 60歳以上65歳未満で心臓、じん臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する者（身障手帳1級相当）

	被接種者数（人）									合計
	60歳以上 65歳未満	65歳	（令和5年度で経過措置対象者への接種終了）						100歳	
			70歳	75歳	80歳	85歳	90歳	95歳		
令和2年度	1	287	112	80	62	70	37	19	10	678
令和3年度	6	240	82	81	54	34	28	16	1	542
令和4年度	1	238	80	84	44	51	55	12	4	569
令和5年度	0	356	112	138	86	65	50	29	5	841

	対象者数（人）			被接種者数（人）		
	60歳以上 65歳未満	65歳	計	60歳以上 65歳未満	65歳以上	計
令和6年度	7	577	584	0	110	110

※平成26年10月から実施。70歳以上への国の経過措置が令和5年度で終了。

③ 新型コロナウイルス感染症ワクチン

対象者：ア 65歳以上の者

イ 60歳以上65歳未満で心臓、じん臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する者（身障手帳1級相当）

	対象者数（人）			被接種者数（人）		
	60歳以上 65歳未満	65歳以上	計	60歳以上 65歳未満	65歳以上	計
令和6年度	16	17,407	17,423	4	4,044	4,048

※予防接種法に基づく臨時接種として令和3年2月より実施されていたが令和5年度で終了。

令和6年10月から予防接種法の定期接種として実施。

## IV 市民ぐるみの健康づくり活動の推進

## 1 健康づくりボランティアの養成

保健栄養教室（食生活改善推進員の養成）、ヘルスアップ教室（ヘルスボランティアの養成）、がん対策推進員養成講座（がん対策推進員の養成）の開催

日 時	内 容	講 師	出席数		
			食生活改善推進員の養成	ヘルスボランティアの養成	がん対策推進員の養成
5月31日(金) 13:30～15:30	開講式 講義「生活習慣病予防」 「ヘルスチェック」 体験 体脂肪測定	高岡厚生センター氷見支所長 利田 智恵 氏 保健師	19	20	
6月27日(木) 9:00～13:00	講義「食生活改善推進員の活動」 講義「健康づくりと食生活」「食品衛生」 体験 食事バランスガイド 調理実習「生活習慣病予防の食事」	食生活改善推進員 栄養士	18	18	
7月12日(金) 9:00～13:00	講義「ヘルスボランティアの活動」 「介護予防」 体験 味噌汁の塩分測定 調理実習「高齢期の食事」	ヘルスボランティア 地域包括支援センター保健師 栄養士	15	16	
8月9日(金) 14:00～16:00	講義「がん予防」 「がん対策推進員の活動」	一般財団法人北陸予防 医学協会施設長 医学博士 山上 孝司 氏 がん対策推進員	11	13	8
9月2日(月) 13:45～15:15	講義「こころの健康づくり」	公認心理師・臨床心理士 高野 利明 氏	13	13	
10月7日(月) 9:30～11:00	講義「健康づくりと身体活動」 体験 簡単な運動	保健師 健康運動指導士 三輪 厚子 氏	14	15	
11月14日(木) 9:00～13:00	講義「骨粗鬆症予防」「血压」 体験 骨密度測定 血压測定 調理実習「骨粗鬆症予防の食事」	栄養士 保健師	18	18	
12月4日(水) 9:00～13:00	講義「歯の健康」 「子どもの健康づくり」 調理実習「乳幼児、学童期の食事」	歯科衛生士 長沢 悦子氏 栄養士	12	13	
1月30日(木) 13:30～15:15	合同閉講式 講義「第3次氷見市ヘルスプラン21と 健康づくりボランティアの役割」	保健師	17	23	6
修了者			19	25	7
修了者 (実人数)			28		

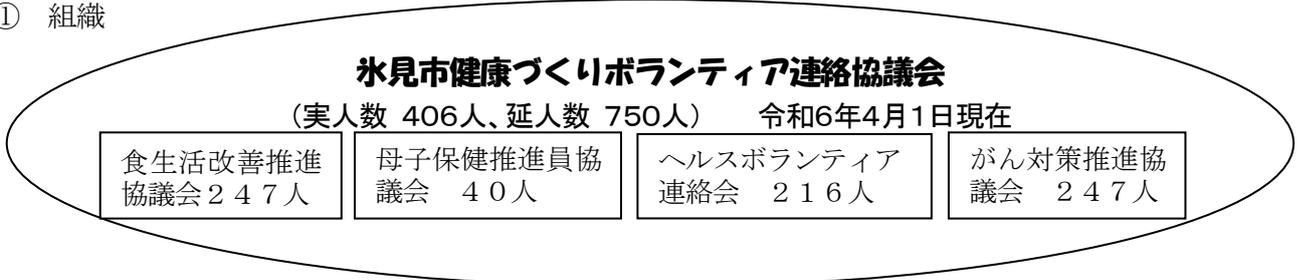
## 2 健康づくりボランティアの育成及び活動

### (1) 健康づくりボランティア連絡協議会

生涯、役割を持って健康でいきいきと生活できることを目的に、「氷見市ヘルスプラン21」の推進と、地域での健康づくりの輪の拡大を柱に、「健康づくりボランティア」の活動が、市内の各地区で展開されている。

健康づくりボランティアには、「食生活改善推進員」、「母子保健推進員」、「ヘルスボランティア」、「がん対策推進員」の団体があり、「健康づくりボランティア連絡協議会」を軸にそれぞれの得意分野を生かし、協力して活動を展開している。

#### ① 組織



健康づくりボランティアマップ (令和6年4月1日現在)



② 市全体としての活動状況

月 日	内 容	従事 ボランティア数 (人)	場 所
5月30日(木)	役員会 ・令和5年度事業及び決算報告 ・令和6年度事業計画及び予算 ・令和6年度の活動について	28	いきいき元気館 リハビリルーム
9月10日(火)	こころの健康づくり講演会 1 講演 「心のしんどさを和らげるすべを身につけよう」 講師 公認心理師・臨床心理士 中田 翔太郎 氏 2 保健師等による健康相談 3 健康づくりに関する展示 4 健康づくりボランティアの活動紹介	9	氷見市芸術文化館 ホール
10月19日(土)	キトキト！健康フェスタ 休養・睡眠クイズ、ストレスチェック、野菜の摂取量チェック（ベジメータ）ストレッチ体験、サシェ（香り袋）づくり体験等	10	ふれあいスポーツ センター 会議室
12月16日(月)	機関紙編集部会	13	いきいき元気館 リハビリルーム
令和7年 1月10日(金)	機関紙編集部会 【大雪のため、書面開催】	17	いきいき元気館 リハビリルーム

③地域での健康づくり活動

(\*は、健康づくりボランティアが受託して行っている事業)

ア 子どもの健康づくりの推進

内 容	対象者	実施回数 (回)	参加地区住民 (人)	従事ボランティア数 (人)
子育て広場健康教室*	在宅の幼児	12	115	23
三世代ヘルシークッキング*	学童	6	62	32
幼児食らくらくメニュー講座*	在宅の幼児	5	113	34
幼児食らくらくメニュー講座	在宅の幼児	10	104	48
計		33	394	137

イ 成人・高齢者の健康づくりの推進

内 容	実施回数(回)	参加地区住民 (人)	従事ボラン ティア数 (人)
地域ぐるみ健康教室*	27	504	150
ウォーキング教室*	29	786	192
生活習慣病予防の食生活改善教室*	7	70	39
高齢者の食改善教室*	9	131	53
高齢者元気はつらつ教室(低栄養の予防)*	21	348	90
高齢者レクリエーション教室*	39	652	151
生活習慣病予防教室(バランスのとれた、野菜たっぷりの食事づくり教室等)	5	60	42
合計	137	2,551	717

ウ 地域の健康づくり意識の啓発活動

習ったことを家族近所の人たちに教える
健康問題をもった人を健康課(相談窓口)に連絡、問題の解決に努める
地区の健康づくりを推進するための打ち合わせ、勉強会を実施
自治会を中心とした健康づくりの会を結成。そのメンバーとして活動
がん検診PRのためののぼり旗を市内一円に立てる。住民健診のPR活動
第3次氷見市ヘルスプラン21(第2次氷見市自殺対策計画)を推進するための「健康づくり推進協議会」、「ヘルスプラン21推進会議」「健康まちづくり実行委員会」「自殺対策推進会議」等に参加

エ 地区の行事や事業等に協力

地区子育てサークル、学童保育の活動協力
きときと百歳体操実施の協力

シルバー談話室・三世代交流・敬老会の協力、地区社会福祉協議会の行事を企画・協力
配食サービス、ふれあいランチサービスの企画、協力
男女共同参画事業（男性料理教室等）に協力
地区のフェスティバル、公民館まつり協力
交通安全教室に協力
地区ウォーキングの協力
防災訓練・防災食調理の協力
地区納涼祭、地区防災講座協力

④ 地域ぐるみ健康教室の状況（再掲）

No.	実施月日	地区名	場所	内容	参加人数 (人)	従事ボランティア数 (人)
1	R6. 5. 28	地蔵町	地蔵町公民館	健康づくりのための睡眠教室	34	5
2	R6. 6. 6	上庄	上庄公民館	ロコモ度テスト	10	10
3	R6. 6. 9	久目	久目地区交流館	生活習慣病予防	8	2
4	R6. 6. 13	伊勢大町	中伊勢公民館	健康づくりのための睡眠教室	4	8
5	R6. 6. 19	朝日丘	民舞伝習館	健康づくりのための睡眠教室 簡単ストレッチ	19	3
6	R6. 6. 22	熊無	旧明和小学校	住民健診を受けよう	150	7
7	R6. 6. 22	藪田	泊コミュニティセンター	生活習慣病予防の食事	12	1
8	R6. 6. 27	宮田	宮田学童保育館	熱中症予防	8	1
9	R6. 7. 14	神代	堀田公民館	骨粗鬆症予防、骨密度測定	10	7
10	R6. 7. 26	朝日本町	朝日南部公民館	からだ きれい エクササイズ教室	5	11
11	R6. 7. 30	八代	八代自治会館	健康づくりのための睡眠教室 よりよい睡眠のためのストレッチ	11	11
12	R6. 8. 2	東	いきいき元気館 リハビリルーム	うつ病とその関わり方 家でも出来るレクリエーション	8	2
13	R6. 8. 25	松田江	松田江児童公園	健康づくりのための睡眠教室	5	8

14	R6. 9. 4	東	いきいき元気館	家庭でできる簡単ストレッチ	14	2
15	R6. 9. 24	下十二町	十三谷農業研修館	健康づくりのための睡眠教室 3B体操で楽しく筋トレ&ストレッチ	4	6
16	R6. 9. 26	十二町	島沖崎公民館	家庭でできる健康体操 健康づくりのための睡眠教室	5	10
17	R6. 10. 11	加納	鞍川コミュニティセンター	運動（ストレッチ）と休養について	15	7
18	R6. 10. 13	稲積	旧稲積小学校体育館	健康体操、ウォーキング	24	5
19	R6. 10. 15	余川	余川営農研修館	健康づくりのための睡眠教室	14	7
20	R6. 10. 24	布勢	布勢地区活性センター	住民健診を受けよう	26	2
21	R6. 10. 29	幸町	七軒町公民館	健康体操	26	5
22	R6. 11. 2	仏生寺	仏生寺公民館クラブハウス	健康づくりのための睡眠教室	2	7
23	R6. 11. 6	宇波	白川研修センター	健康づくりのための睡眠教室	18	3
24	R6. 11. 15	女良	女性活動拠点施設（中波）	健康づくりのための睡眠教室	13	3
25	R6. 11. 17	速川	速川公民館	体脂肪測定・握力測定	30	5
26	R6. 12. 1	阿尾	阿尾公民館	男性料理教室 減塩と野菜摂取で生活習慣病予防	18	11
27	R7. 2. 1	窪	窪公民館	健康づくりのための睡眠教室	11	1
					504	150

## (2) 食生活改善推進員の育成及び活動

### ①地域での活動

#### ア 地区伝達講習の状況

名 称	内 容	実施回数 (回)
幼児食らくらくメニュー講座	1～3歳児の少食、偏食等食生活の悩みの解決をめざした育児教室	市委託 5
		その他 10
三世代ヘルシークッキング	小学生とその家族を対象に小児生活習慣病予防の話、寸劇（朝食）、クイズ、クッキング等	6
健康づくり料理教室	成人期を対象にした生活習慣病予防のための食生活講座	7
高齢者料理教室	高齢期とその家族を対象にした低栄養を予防するための食生活講座	9
バランスのとれた食事づくり教室	食事バランスガイドの普及などバランスのとれた食事をするための食生活講座	5
その他	三世代ふれあいクッキング、元気とやまわくわくクッキング、若者向け食文化と食育実践推進事業、ヘルスサポーター養成事業等	12

#### イ その他

- ・健康教室の企画、実施（市内全地区）
- ・健診受診勧奨活動（市内全地区）
- ・福祉活動（高齢者配食サービス、ふれあいランチサービス等）に協力（市内各地区）

### ②市全体としての活動、研修会

月 日	内 容	参加 人数（人）
4月26日	氷見市食生活改善推進協議会総会	55
5月23日	第1回研修会 講義「第3次氷見市ヘルスプラン・地区活動のすすめ方」 調理実習 栄養バランスレシピ	42
5月29日	富山県食生活改善推進連絡協議会定例総会 講演「食生活改善推進員は“二刀流” ～のばそう健康寿命 つなごう郷土の食～」 講師：一般財団法人 日本食生活協会会長 全国食生活改善推進員協議会理事長 田中 久美子氏	18

6月12日	野外研修 富山方面 四季防災館 富岩運河環水公園散策 等	52
7月2日	第2回研修会 講義「子どもの健康づくり」 調理実習 三世代ヘルシークッキング 幼児食らくらくメニュー講座	44
7月26日 7月31日	三世代ヘルシークッキング 小学生とその家族を対象とした講座 テーマ「朝ごはんを食べよう」 内 容 朝ごはんクイズ、調理実習	5 6
8月30日	幼児食らくらくメニュー講座（母推と共催） 1～3歳児対象の育児講座 テーマ「早寝早起き朝ごはん」 内 容 幼児食レシピ紹介・試食	5
9月10日	こころの健康づくり講演会 活動紹介	2
9月18日	第3回研修会 講義「高齢期の健康づくり」 調理実習 しっかり食べて健康長寿～無理なく美味しく減塩～	39
10月19日	キトキト！健康フェスタ イベント協力	3
11月6日	第4回研修会 講義「大人の健康づくり」 調理実習 減塩と野菜摂取で生活習慣病予防	39
12月10日	若者向け食文化と食育実践事業 生活福祉課3年生対象 講義・調理実習「生活習慣病予防」	7
1月21日	新年初会・情報交換	35
2月13日	第5回研修会 活動発表（十二町支部、稲積支部、余川支部、市協議会） 調理実習「減塩&野菜をたっぷり食べられる料理」試食会	43
3月	「推進員だより第22号」発行	

### ③その他協力事業

名 称	内 容	回数等
住民健診	健診会場での案内、身体計測等	健康づくりボランティアとして協力

### (3) 母子保健推進員の育成及び活動

地域の子育て家庭が安心して育児できるように、気軽に相談してもらえる存在、子育て情報の発信者としての役割を果たすため、40名の母子保健推進員が活動している。

活動スローガン 「乳幼児期からよい生活習慣を身につけましょう。」

#### ① 主な活動

活動名	内 容	回数等
声かけ訪問	乳幼児の子育て家庭を訪問し、育児に関する不安や悩みを聴き、保育者の育児不安を軽減する。また、乳幼児の事故防止やむし歯予防の知識の普及、子育て情報の発信を行う。	220件 (内訳) 3か月児 119件 1歳児 131件
子育て広場	各地区の子育て広場において、参加者同士の情報交換のお手伝い、見の見守り等を行う。	12回
パパママ体験教室協力	市主催の両親学級において、父親の妊婦体験のサポートや参加者同士の情報交換のお手伝い等を行う。	4回
プレママ&ママサロン協力	市主催のプレママ&ママサロンにおいて、体温測定時の見の見守りや母のサポートを行う。	4回
幼児食らくらくメニュー講座	1～3歳児の少食、偏食等食生活の悩みの解消をめざし、育児教室を開催する。	14回
地区健康教室協力	地域の健康教室に協力する。	全地区

②市全体としての活動・研修会

月 日	名 称	内 容 (講師等)	参加 人数 (人)
4月17日	母子保健推進員研修会	講義：「氷見市の子育て支援事業について」 「母子保健推進員の活動について」 健康課保健師 情報交換：「母子保健推進員の活動について」	27
6月11日	高岡厚生センター管内 母子保健推進員連絡会	報告：「各協議会における令和5年度の活動状況 と今年度の取り組み」 情報交換・意見交換	1
7月11日	富山県母子保健推進員 連絡協議会研修会	特別公演 講義：「未来の健口投資を支える母子保健のすすめ！-生まれる前から始めるう蝕予防戦略-」 静岡県立短期大学部歯科衛生学科教授 仲井 雪絵氏 活動報告 黒部市母子保健推進員連絡協議会	15
8月30日	幼児食らくらくメニュー講座（食改と共催）	絵本の読み聞かせ、情報交換、育児講座	6
9月10日	こころの健康づくり 講演会	活動紹介	2
10月19日	キトキト！健康フェスタ	イベント協力：サシェ（香り袋）体験コーナー	2
2月7日	母子保健推進員研修会	講義：「氷見市の母子保健事業、震災から1年」 健康課保健師	22

#### (4) ヘルスボランティアの育成及び活動

- 活動目標 ・ 体も心もいきいきとした人づくり、地域づくりの推進
- 今年度の方針 ・ ウォーキングなどの運動を日常生活に取り入れて、楽しみながら健康づくりを進め、その輪を広げていく。
- ・ 健康づくりに関する研修会や地域事業に積極的に参加し、生活習慣病予防や介護予防、心の健康づくりへの意識を高める。

##### ① 全体の活動

月 日	内 容	場 所	参加人数 (人)
4月25日(木)	氷見市ヘルスボランティア連絡会総会	いきいき元気館	28
5月27日(月)	地区連絡員会・研修会 実技「身体を使ったレクリエーション」 講師：健康運動指導士 三輪 厚子 氏	ふれあいスポーツセンター	50
9月10日(火)	こころの健康づくり講演会 活動紹介	芸術文化館	2
9月27日(金)	高岡厚生センター管内 ヘルスボランティア合同研修会 講義・実技「体操による効果」 講師：金沢医科大学氷見市民病院 主任理学療法士 浜池 孝徳 氏	ふれあいスポーツセンター	56
10月19日(土)	キトキト！健康フェスタ イベント協力	ふれあいスポーツセンター	2
10月29日(火)	野外研修 とやま健康パーク 氷見市の日 体験「健康チェック、生活体力測定、 eスポーツ体験」	とやま健康パーク	28
1月17日(金)	研修会 実技「家庭でできるやさしい運動」 講師：健康運動実践指導者 松田 伊甲子 氏	ふれあいスポーツセンター	37
3月12日(水)	地区連絡員会・研修会 体験「音楽療法を体験しよう～音楽でこころも身体もリフレッシュ～」 講師：日本音楽療法学会認定音楽療法士 奥 羊子 氏	ふれあいスポーツセンター	51

(5) がん対策推進員の育成及び活動

月 日	内 容	場 所	参加 人数 (人)
5月8日(水)	がん対策推進協議会総会	いきいき 元気館	22
6月24日(月)	がん対策推進員地区・ブロック代表者会	いきいき 元気館	25
6月27日(木)	がん検診受診勧奨活動(のぼり旗の設置)	サンコー プラファ	1
6月～10月	がん検診受診勧奨活動(のぼり旗設置、 がん検診PRグッズ、ポケットティッシュ の配布等)	市内 各地区	247
8月9日(金)	がん対策推進員養成講座 活動紹介 ※受講者20名	いきいき 元気館	1
9月10日(火)	こころの健康づくり講演会 活動紹介	芸術文化館	3
10月19日(土)	キトキト!健康フェスタ イベント協力	ふれあい スポーツ センター	3
11月1日(金)	がん対策推進員野外研修	富山県栽培 漁業センタ ーほか	35
令和7年 1月31日(金)	がん対策推進員研修会 講義「がん予防の食生活」 講師 市管理栄養士 調理実習・試食 協力 食生活改善推進協議会	いきいき 元気館	26
3月7日(金)	がん対策推進員研修会 情報提供「富山県がん総合相談センター の活動について」 講師 富山県がん総合相談センター 統括相談員 尾川 洋子氏 体験発表「私のがん体験」 講師 富山県がんピアサポーター 片山 かよ子氏	芸術文化館	46

\*年間を通しての活動

健康を保つための知識普及

地区での健康教室の企画や運営など、他の健康づくりボランティアとともに広く活動する。

V 第 3 次 氷 見 市 ヘ ル ス プ ラ ン 2 1  
（ 第 2 次 氷 見 市 自 殺 対 策 計 画 ）  
令和 6 年 度 ～ 令 和 1 7 年 度

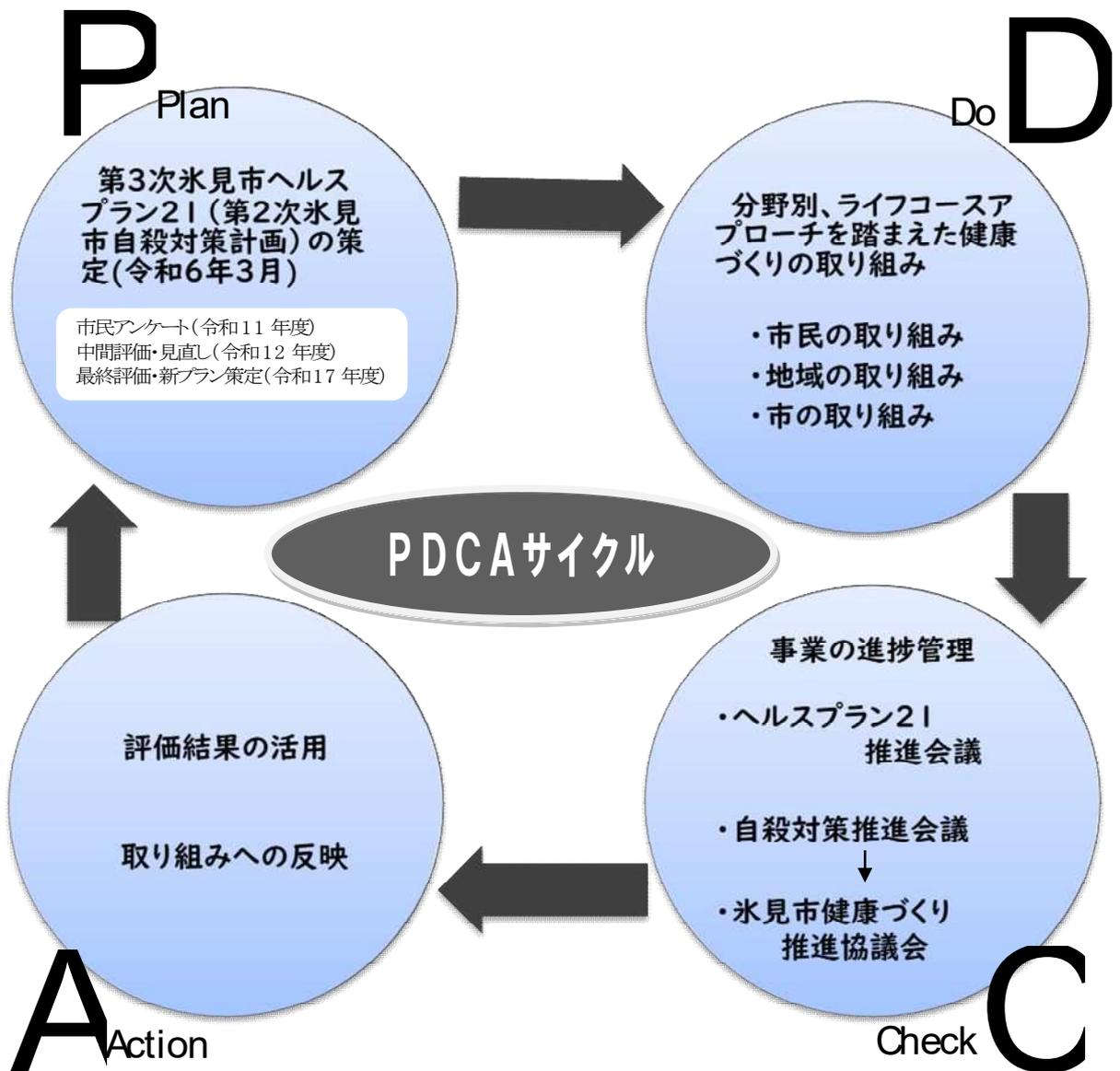
# 1 計画の推進と評価

第3次氷見市ヘルスプラン21は「だれもがいきいきと元気に暮らすまち氷見」の実現をめざし、「ひろげよう健康づくりの輪」、「みつめよう自分のこころと身体」をスローガンとして市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康な地域づくりに向けて支援を行っている。

また、市民、地域（地区・住民組織、健康づくりボランティア、保健・医療関係機関、保育園及び認定こども園・学校等教育機関、職域等）、行政が一体となり健康づくり・未病対策を推進している。

第2次氷見市自殺対策計画は「『生きる』を支え合うまち ひみ～誰も自殺に追い込まれることのない氷見市の実現を目指して～」を基本理念とし、全庁的連携のもと、関係機関、団体との連携を図りながら、こころの健康づくり・自殺対策を推進している。

第3次氷見市ヘルスプラン21（第2次氷見市自殺対策計画）を効果的に推進するため、「ヘルスプラン21推進会議」、「自殺対策推進会議」、「健康づくり推進協議会」において関係者とさまざまな取り組みの状況を確認・共有し改善するなどPDCAサイクルで進行管理を行っている。



## 2 氷見市未病対策事業

病気になってから行動するのではなく、未病（病気ではないが、健康でもない状態）の段階から、より健康に近づけるという考え方で、健康寿命の延伸を目指し、市民の誰もが健康増進に取り組むことができるよう、地域や関係団体と連携を図り、健康行動の正しい知識を普及啓発することを目的とする。

### (1) 健康まちづくり実行委員会の開催

未病対策事業を効果的に推進し、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むための手法等について検討し、発信するため、団体・企業、地域、行政が連携して「氷見市健康まちづくり実行委員会」を開催する。

実施日	内 容	参加人数	場所
令和6年 7月24日	第3次氷見市ヘルスプラン21（第2次氷見市自殺対策計画） 氷見市未病対策事業の概要 グループワーク ①「未病対策普及啓発チラシ（休養・睡眠編）の内容、配布先について ②「市民の望ましい休養・睡眠習慣、心の健康のために何ができるか」	実行委員 26人 健康課職員 13人	いきいき 元気館 リハビリルーム

### (2) 未病対策普及啓発ポスター・チラシの作成・配布

休養・睡眠に関する取り組みやすい健康行動を伝える内容のチラシを作成し、健康まちづくり実行委員を通して広く普及啓発を行う。

配布先：健康まちづくり実行委員、健康づくりボランティア連絡協議会、医療機関、薬局、小中学校、保育所、事業所、施設、健康課事業等

### (3) キトキト！健康フェスタの開催

第3次氷見市ヘルスプラン21における健康課題である「休養・睡眠」について、幅広い世代を対象に健康イベントを開催し、健康づくりの普及啓発を行う。

令和6年度は氷見市スポーツ協会主催のスポーツ健康まつりと同時開催。

実施日	内 容	参加人数	場所
令和6年 10月19日	テーマ 「休養・睡眠」 1) 健康機器測定 ・ストレスチェック ・野菜の摂取量チェック (ベジメータ) 2) クイズコーナー ・休養・睡眠クイズ 3) リラックスコーナー ・ストレッチ体験 講師 高齢者体力づくり支援士 谷内紳一先生 ・サシェ (香り袋) づくり体験 4) 展示コーナー ・「あなたが撮った立山写真」の展示 ・健康に関する情報提供	大人 87人 子ども 125人	ふれあい スポーツ センター 会議室

#### (4) メタボ予防のための運動教室

実施日	内 容	参加人数	場所
令和6年 11月18日	正しい歩き方講座～見晴らしの丘を歩こう～ 講師 健康運動実践指導者 松田 伊甲子先生 ・雨天のためふれあいスポーツセンターサブアリーナ内で運動を実施 ・ウォーキングマップ、県公式スマートフォンアプリ「元気とやまかがやきウォーク」の紹介	29人	ふれあい スポーツ センター サブアリーナ

### 3 こころの健康づくり推進事業

市民が心の健康を保てるよう、心の病気やストレス症状のある人を適切な支援につなげ見守る人材の育成、専門職による相談会の開催、こころの健康づくりについて広く普及啓発する。

また、自殺対策推進会議を開催し、関係機関、関係団体と連携を図りながら、自殺対策を推進する。

#### (1) 精神保健福祉相談件数

	実人数	延人数	うち震災関連延人数
来所相談	9	15	5
訪問	1	1	2
電話相談		17	3

#### (2) こころの健康相談会

ストレスや悩みを抱えている人やその家族の相談を受けることで、ストレスの軽減や適切な支援や治療につなげ、こころの健康を維持できるよう支援する。

内容	回数	参加人数(人)
日時：令和6年4月16日、6月25日、9月17日、10月29日、 12月17日、令和7年2月25日 場所：いきいき元気館 内容：公認心理師・臨床心理士による相談	6	実7 延7

#### (3) こころの健康教室

メンタルヘルスに対する知識の習得や意識を高め、こころの健康づくりを推進する。また、相談窓口の周知を行う。

内容	回数	参加人数(人)
内容：睡眠に関する講義、こころと身体に関する講義、 こころの相談窓口の紹介等 対象：地区住民、年金者連盟 スタッフ：保健師	17	353

#### (4) こころの健康づくり講演会

心のしんどさに対するセルフケアの方法を学ぶことでメンタルヘルスに対する意識を高め、こころの健康づくりを推進する。

内容	回数	参加人数(人)
日時：令和6年9月10日 場所：芸術文化館 ホール 内容：「心のしんどさを和らげるすべを身につけよう」 講師 公認心理師・臨床心理士 中田 翔太郎 氏	1	140

(5) こころとからだの健康相談会

地域住民が、心身の健康に関する相談を気軽に受けられる場を提供し、健康づくりを支援する。

内容	回数	参加人数(人)
日時：令和6年9月10日 ※こころの健康づくり講演会に併せて開催。 場所：芸術文化館 エントランスロビー 内容：保健師や管理栄養士による相談、健康情報の提供、血圧測定	1	25

(6) ゲートキーパー養成講座

地域の中で悩みを抱えた人に気づき、声をかけ必要な支援につなげられる人を養成することで、自殺による死亡者を減らすとともに、市民のこころの健康づくりを推進する。

内容	回数	参加人数(人)
日時：令和6年9月2日、9月24日、10月2日、令和7年2月10日 内容：ゲートキーパーを養成する講座 対象：健康づくりボランティア養成講座受講者、連合婦人会、市職員 スタッフ：公認心理師・臨床心理士、保健師	4	76

(7) 自殺予防週間等における自殺予防キャンペーン

内容	回数
日時：令和6年9月、令和7年2月～3月 「自殺予防週間」、「とやまいのちを守り育む週間」「自殺対策強化月間」にあわせて市広報、ホームページ、公式LINE等で自殺予防に関する啓発活動を実施	2

(8) 自殺対策推進会議の開催

「誰も自殺に追い込まれることのない氷見市」の実現を目指して、令和6年3月に策定した氷見市自殺対策計画を総合的かつ円滑に推進するため、保健・福祉・教育・労働や地域の各種団体と自殺対策に関する取り組みの進捗状況や課題について情報共有し、連携の強化を図るとともに今後の自殺対策事業について協議することを目的とする。

実施日	出席委員数(人)	内容
令和7年 1月23日(木)	15	・氷見市の自殺の現状と自殺対策計画の進捗状況について ・自殺対策に関する意見交換

## VI 保健事業の円滑な推進をめざして

## 1 健康づくり推進協議会

### (1) 目的

市民が健康でいきいきと過ごすことができるようにするために、健康の保持・増進のための施策について企画・協議することを目的に実施している。また、「第3次氷見市ヘルスプラン21」、「第2次氷見市自殺対策計画」の推進・評価についての検討を行う。

### (2) 開催日

令和7年2月27日（木）

### (3) 開催場所

いきいき元気館 リハビリルーム

### (4) 内容

- ①第3次氷見市ヘルスプラン21の進捗状況について
- ②第2次氷見市自殺対策計画の進捗状況について
- ③市の健康課題と今後の取組みについて

### (5) 委員 16人

- ・公益社団法人氷見市医師会長
- ・氷見市歯科医師会長
- ・医療法人社団明寿会ふるさと病院長
- ・富山県高岡厚生センター氷見支所長
- ・金沢医科大学氷見市民病院総合診療科教授
- ・氷見市スポーツ協会専務理事
- ・氷見市自治振興委員連合会副会長
- ・氷見市民生委員児童委員協議会長
- ・氷見市老人クラブ連合会長
- ・氷見市連合婦人会副会長
- ・氷見市健康づくりボランティア連絡協議会長（氷見市がん対策推進協議会長）
- ・氷見市食生活改善推進協議会長
- ・氷見市母子保健推進員協議会長
- ・氷見市ヘルスボランティア連絡会長
- ・氷見市学校保健会養護教諭部会部長
- ・氷見商工会議所総務部長

## 2 氷見市ヘルスプラン21推進会議

### (1) 目的

市民の健康づくりの推進をめざし、保健、福祉、教育や地域の関係団体が連携して、健康状態を共有し、効果的な事業の実施について協議する。また、「第3次氷見市ヘルスプラン21」の推進、評価等について検討・協議し、進捗管理を行う。

※健康づくり推進会議のワーキング部会として例年実施していた「子どもの健康づくり推進会議」及び「大人の健康づくり推進会議」を子どもから大人まで課題を共通理解し、各機関で一体的に取り組む会議として再編し、令和6年度から設置した。

### (2) 開催日

令和6年12月25日（水）

### (3) 開催場所

いきいき元気館 リハビリルーム

### (4) 内容

- ①会議の趣旨及び第3次氷見市ヘルスプラン21について
- ②氷見市の休養・睡眠の現状と課題及び健康課の取り組み状況
- ③休養・睡眠に関する健康づくりの推進のための具体策についての意見交換

### (5) 委員 21人

- ・氷見市民生委員児童委員協議会
- ・氷見市連合婦人会
- ・氷見市老人クラブ連合会
- ・氷見市食生活改善推進協議会
- ・氷見市母子保健推進員協議会
- ・氷見市ヘルスボランティア連絡会
- ・氷見市がん対策推進協議会
- ・社会福祉法人氷見市社会福祉協議会
- ・公益財団法人氷見市スポーツ協会
- ・氷見商工会議所
- ・株式会社 氷見村田製作所
- ・小松製作所氷見工場
- ・全国健康保険協会 富山支部
- ・富山県高岡厚生センター氷見支所
- ・学校保健委員会 養護教諭部会
- ・氷見市保育士会
- ・氷見市地域子育てセンター
- ・氷見市子育て支援課（保育サービス担当）
- ・氷見市スポーツ振興課
- ・氷見市市民課（保健年金担当）
- ・氷見市地域包括支援センター

### 3 成人保健事業関係者会議

#### (1) 目 的

壮年期からの健康についての認識と自覚の高揚を図るために関係者が集まり、健康診査等の成人保健事業を円滑に実施できるよう検討・協議することを目的とする。

#### (2) 開 催 日

令和6年6月19日（水）～6月24日（月）

※会議形式ではなく各医療機関を巡回した。

#### (3) 開催場所

市内住民健診受託医療機関19箇所（眼科2箇所を含む）

#### (4) 内 容

令和6年度住民健診説明会

- ・令和6年度特定健康診査実施内容について
- ・令和6年度がん検診実施内容について
- ・令和6年度特定保健指導等について

## 4 自殺対策推進会議

### (1) 目的

「誰も自殺に追い込まれることのない氷見市」の実現を目指して、「第2次氷見市自殺対策計画」を総合的かつ円滑に推進するため、保健・福祉・教育・労働や地域の各種団体と自殺対策に関する取り組みの進捗状況や課題について情報共有し、連携の強化を図るとともに今後の自殺対策事業について協議することを目的とする。

### (2) 開催日

令和7年1月23日（木）

### (3) 開催場所

いきいき元気館 リハビリルーム

### (4) 内容

- ①氷見市の自殺の現状と第2次氷見市自殺対策計画の進捗状況について
- ②自殺対策に関する意見交換

### (5) 委員 19人

- ・氷見市自治振興委員連合会
- ・氷見市民生委員児童委員協議会
- ・氷見市老人クラブ連合会
- ・氷見商工会議所
- ・公益社団法人 氷見市医師会
- ・医療法人社団 明寿会ふるさと病院
- ・氷見市健康づくりボランティア協議会
- ・氷見警察署
- ・氷見公共職業安定所
- ・富山県高岡厚生センター氷見支所
- ・ふくし相談サポートセンター
- ・教育総合センター
- ・氷見消防署
- ・商工観光課
- ・地域包括支援センター
- ・氷見地域相談窓口（ふるさと病院）
- ・福祉介護課
- ・市民課
- ・子育て支援課

## VII 社会参加の推進

# 1 ポイント制度推進事業

健康寿命の延伸を目的とし、市民がポイントを貯めることを励みに健康づくりの取り組みに参加し、健やかな生活を送れるようポイント制度を実施する。

## (1) 実施内容

対象者	20歳以上の氷見市民の方
ポイント交付方法	対象とする取り組みに参加した際にポイント交付
ポイント交付期間	令和4年3月31日までとしていたが、延長する
ポイント対象事業	市主催のスポーツイベント、健康教室、健診・予防接種等 各種団体等の取り組みについては、3人以上の団体やグループからの申請により、「健康寿命の延伸」につながる活動であることやポイント管理体制などを確認し、ポイント対象と認定する。
ポイント交換	100ポイント貯めたポイントカードは「ひみキトキト商品券(1,000円分)」と交換

## (2) 実施状況

認定団体数

(単位：団体)

	認定団体数			
	100歳体操	体育協会関係	その他	合計
平成30年度	61	27	18	106
令和元年度	13	3	29	45
令和2年度	7	0	3	10
令和3年度	1	0	3	4
令和4年度	3	1	2	6
令和5年度	3	0	8	11
令和6年度	2	0	4	6
合計	90	31	67	188

参加者数

(単位：人)

	参加者数			
	100歳体操	体育協会関係	その他	合計
平成30年度	1,567	886	439	2,892
令和元年度	1,897	941	1,580	4,418
令和2年度	1,981	941	1,615	4,537
令和3年度	1,996	941	1,670	4,607
令和4年度	1,967	941	1,731	4,639
令和5年度	1,957	941	2,008	4,906
令和6年度	1,971	941	2,122	5,034

ポイント交換者数 (単位：人)

	ポイント交換者数
令和4年度	817
令和5年度	704
令和6年度	769

令和6年度ポイント交換者数 性・年齢別内訳

年代	男性(人)	女性(人)	合計(人)	割合(%)
20歳代	0	0	0	0
30歳代	1	1	2	0.3
40歳代	0	3	3	0.4
50歳代	1	15	16	2.1
60歳代	7	47	54	7.0
70歳代	62	336	398	51.7
80歳代	33	236	269	35.0
90歳以上	4	23	27	3.5
合計	108	661	769	100.0

## 2 とやま呉西圏域ポイントサービス事業

社会全体で個人の健康づくりを支える機運を醸成し、事業の参加による圏域住民の交流の増加を期待するとともに、行政施設やサービス利用率の向上、特産品のPR、各種まちづくり活動に対する市民意識の向上につなげるものとする。

### (1) 実施内容

対象者	とやま呉西圏域連携中枢都市圏に居住する市民
実施主体	とやま呉西圏域連携中枢都市圏構成自治体 (高岡市、射水市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市)
ポイント対象事業	県公式スマートフォンアプリ「元気とやまかがやきウォーク」のGPS機能を利用し、特定の地点を起点としたウォーキングに対し、アプリ内ポイントを付与するとともに、ダブルチャンスとして、景品を抽選でプレゼントするもの。
ポイント交付期間	ウォーキング実施期間：令和6年10月1日から令和6年11月30日 ダブルチャンス応募期間：令和6年10月1日から令和6年12月7日

### (2) 実施状況

(単位：人)

ミッション 実施市	高岡市	射水市	氷見市	砺波市	小矢部市	南砺市	合計	割合 (%)	
達成者数	416	311	238	312	334	270	1,881		
応募者数	313	223	180	233	266	216	1,431	100.0	
応募者住所	高岡市	128	81	65	77	84	65	500	34.9
	射水市	59	65	31	44	38	34	271	18.9
	氷見市	14	10	32	10	11	9	86	6.0
	砺波市	25	14	13	31	22	22	127	8.9
	小矢部市	34	13	13	16	53	18	147	10.3
	南砺市	32	17	15	39	46	54	203	14.2
	その他	21	23	11	16	12	14	97	6.8
応募者年齢	10歳代	1	0	0	1	0	3	5	0.4
	20歳代	7	2	4	3	6	1	23	1.6
	30歳代	18	9	4	11	13	7	62	4.3
	40歳代	50	36	30	43	49	42	250	17.5
	50歳代	98	79	55	73	86	69	460	32.1
	60歳代	97	69	64	76	85	70	461	32.2
	70歳代	40	26	23	25	27	22	163	11.4
	80歳代	2	2	0	1	0	2	7	0.5

### 3 がん患者補正具購入費用助成事業

がん患者の心理的負担を軽減するとともに、生活の質の向上、就労及び社会参加を促進することを目的として、がん治療に伴い、ウィッグ又は乳房補正具を使用するものに対し、購入費用の一部の助成する事業を令和5年度より開始した。

令和6年10月より県の助成金額(上限 ウィッグ1万円、乳房補正具5千円)が上乘せされ、ウィッグは1年度あたり購入費用の1/2(上限額4万円)を、乳房補正具は1年度あたり購入費用の1/2(上限額2万5千円)を助成している。

助成状況 (単位：件)

	ウィッグ	乳房補正具
令和5年度	26	6
令和6年度	14	8

※ 乳房補正具は左右それぞれを1件として計上

### 4 骨髄等移植ドナー助成事業費

所属する企業等に有給のドナー休暇制度がない等、経済的な理由から骨髄等の提供をためらう方を支援し、骨髄等を提供しやすい環境を整えることを目的として、骨髄等の提供を行う際に必要な通院・検査・入院等の日数に応じて助成金を交付する事業を令和6年度より開始した。

骨髄等の提供のための通院等の日数×2万円、1回の提供につき7日分14万円を限度として県が1/2、市が1/2の金額を助成する。

助成状況

	助成者数(人)
令和6年度	0

## VIII 災害時の保健活動

# 1 令和6年能登半島地震に係る保健活動

住民の生命と安全を確保し、健康被害を最小限にとどめ、被災後の二次的な健康障害の予防を図ることを目的とする。

## (1) 在宅被災者への支援

### ①在宅被災者個別訪問（9月）

応急住宅に入居した住民を対象に保健師が訪問し、心身の健康状態及び生活状況を把握し、必要に応じて支援した。

訪問住宅	対象世帯数、訪問総数	内容
市営住宅(栄町、園、大野、朝日丘)、うみどり一む栄、転勤者用住宅、移住定住促進住宅	対象世帯数：28軒 訪問総数：28件 (再掲：在宅7件 不在21件)	・健康調査・相談・保健指導 ・こころのケア ・保健医療福祉の情報提供 ・要支援者の把握と対応

### ②巡回相談（きときと100歳体操）

震災後の高齢者の心のケアを目的に、きときと100歳体操に参加している高齢者を対象に「心の健康講座」を開催した。また、個別の健康相談を実施し、心身の健康状態及び生活状況を把握し、必要に応じて支援した。

実施月	実施会場数	参加者数	要支援者数	スタッフ数	スタッフ内訳			
				合計	地域包括支援センター	相談窓口	健康課	市民課
4月	11	96	8	28	13	8	4	3
5月	13	111	4	47	23	9	11	4
6月	18	179	7	56	31	14	7	4
合計	42	386	19	131	67	31	22	11

従事スタッフ：地域包括支援センター・相談窓口、健康課、市民課

## (2) こころの健康づくり講演会 ※再掲

震災後の心のケアと市民のメンタルヘルスに対するセルフケア能力向上を目的に講演会を開催した。また、保健師、栄養士による健康相談、健康づくりに関する展示を実施した。

### ①実施日

令和6年9月10日（火）

### ②場所

芸術文化館ホール及びエントランスロビー

### ③内容

#### ・講演

「心のしんどさを和らげるすべを身につけよう」

講師 公認心理師・臨床心理士 中田 翔太郎 氏

#### ・保健師、栄養士による健康相談

#### ・健康づくりに関する展示、健康づくりボランティアの活動紹介

### ④参加者 140人

(3) こころとからだの健康相談会 ※再掲

地域住民が、震災後のストレスによる心身の健康に関する相談を気軽に受けられる場を提供し、健康づくりを支援することを目的に実施した。

①実施日

令和6年9月10日（火）※こころの健康づくり講演会に併せて開催。

②場所

芸術文化館 エントランスロビー

③内容

保健師や管理栄養士による相談、健康情報の提供、血圧測定

④参加者 25人

(4) 能登半島地震における災害時保健活動の振り返り連絡会

能登半島地震における保健活動を振り返り、課題等について検討し、今後の災害時保健活動に活かすことを目的に実施した。

①実施日

令和7年3月25日（火）

②内容

・活動報告・振り返り

「氷見市の災害時の保健活動～各機関の災害支援活動について～」

「県及び高岡厚生センター氷見支所の災害時の支援活動について」

・意見交換（グループワーク）

「災害に備えて自分たちができること」

・講義

「災害時の保健活動について」

講師 富山県高岡厚生センター氷見支所長 利田 智恵 氏

③参加者 20人

富山県高岡厚生センター氷見支所、氷見市健康課、地域包括支援センター、福祉介護課、市民課、子育て支援課、こども家庭センター

## 參考資料



# 令和6年度 成人保健事業の概要

※市民課とともに実施

	~39歳	40歳	50歳	60歳	70歳	75歳~
健康診査	39歳以下の健康診査	特定健康診査※ 主にメタボリックシンドロームに着目した内容の健診				後期高齢者の健康診査※
		健康増進法による健康診査				
がん検診等		胃がん検診、肺がん検診(65歳以上は結核検診も同時実施)、大腸がん検診、肝炎ウイルス検診				
		前立腺がん検診(50~74歳の男性のみ)				
		子宮がん・乳がん検診(20歳以上の女性のみ)				
		骨粗鬆症検診(40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳・70歳の女性のみ)				
		歯周病検診(20歳・30歳・40歳・50歳・60歳・70歳)				
助成事業	PET-CT検診費用の助成(年度内1回限り2万円を助成) がん患者補正具購入助成事業(助成額は購入費用の1/2 上限額※ ウィッグ:3万円 乳房補正具(左右各):2万円)					
健康ポイント	骨髄等移植ドナー助成事業(通院等の日数×2万円 7日分 14万円を限度) ※令和6年10月より県の助成額が上乗せ ウィッグ:4万円 乳房補正具(左右各):2万5千円					
	氷見きときと健康ポイント(20歳以上) とやま呉西圏域健康ポイント(富山県公式スマホアプリ「元気とやまかがやきウォーク」を活用)					
保健指導等		特定保健指導※ メタボリックシンドローム予防・改善のため保健指導を実施				
		訪問指導 療養上の保健指導が必要な者およびその家族に対し家庭訪問を実施				
		糖尿病性腎症重症化予防事業※				
健康教育	運動実践教室 生活習慣病予防のための日常生活に取り入れやすい運動体験					
健康相談	ヘルシー食生活講座 食習慣改善のための講義、調理実習など					
未病対策	健康教室 いきいき元気館、地区(26地区)、企業などで開催					
	健康なんでも相談 医師、保健師、栄養士等による心身の健康相談会					
	未病対策 メタボ予防対策普及啓発ポスター、チラシの作成、健康イベントの実施等		個別相談 来所、電話、家庭訪問にて実施		被災者の健康管理 健康調査・訪問・相談・心のケア	
健康づくりボランティア養成・育成	健康づくりボランティア養成 保健栄養教室(食生活改善推進員養成講座) がん対策推進員養成講座			健康づくりボランティア育成 ヘルスアップ教室(ヘルスポランティア養成講座) 研修会の開催 地区活動の支援		
こころの健康づくり自殺対策	こころの健康教室		こころの健康相談会 保健師、臨床心理士等による心の健康相談会		ゲートキーパー講座	
連絡会議等	成人保健事業関係者会議	健康まちづくり実行委員会	氷見市ヘルスプラン21推進会議	氷見市自殺対策推進会議	健康づくり推進協議会	

## 令和6年度 保健事業のあらまし

発行日 令和 8年 2月

発行者 氷見市市民部健康課

〒935-0011

富山県氷見市中央町12番21号

TEL (0766) 74-8062

FAX (0766) 74-8257

E-mail [kenkou@city.himi.lg.jp](mailto:kenkou@city.himi.lg.jp)